

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0/A ¥ 1 8 9 0/B ¥ 2 0 9 0/C ¥ 2 2 5 0/D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

[CD/SCANDINAVIA]

- *NORDIC FIDDLERS BLOC: Deliverance C
(ノルウェーの Olav Luksengård Mjelva、スウェーデンの Anders Hall そしてシェトランドの Kevin Henderson の各地を代表するフィドル名人三名による Nordic Fiddlers Bloc の二枚目。
前作同様、三人それぞれが自国のフィドル・ミュージックの特徴を見事に奏で上げていて、一人が自分のレパートリーを演奏する時には、他の二名は脇役。こだわりの曲をそれぞれの伝統音楽の、特に郷愁をそそるような独特な味わいがよく発揮されていて、唸ってしまう。競演というのが功を奏してるとしか思えない+αの見事さだ。2016 作。Nordic Fiddlers Bloc)
- *ODE: Och Hela Varlden Den Log C
(Ode はスウェーデンのトラッド系生え抜きのミュージシャンのトリオ。その三名はニッケルハルバ 奏者として内外で数々の賞を受賞し、チャレンジ精神旺盛なミュージシャン、シンガー、ダンサーの Emilia Amper [ニッケルハルバ、ヴォーカル、パーカッション] と Ale Moller Band や Sofia Karlsson のバック・ミュージシャン等で活動する Olle Linder [ギター、パーカッション、ヴォーカル]、そしてマルチ楽器演奏家の Dan Svensson [各種パーカッション、ギター、口琴、ロー・ホイッスル、フルト、ヴォーカル]。スーパー・トリオが創作する音楽は、スウェーデンの伝統音楽にアラブ音楽、中世音楽、ジプシー音楽+αを混ぜた異種交配音楽。2013 作。Gammalthea)
- *BLINK: Blink B
(Blink はフィンランド、スウェーデン、エストニア、デンマーク、ノルウェー出身の女性 4 人組。4 名のヴォーカルと各人がニッケルハルバ、カンテレ、フィドル、オートハープ等を演奏。基本的に北歐的に素朴な伴奏による素朴で美しくまた力強くもあるシンギング & ハーモニーが素晴らしい。Produced by Maria Kalaniemi。2011 作。NORCD)

[CD/LAPLAND]

- *INGA RAVNA EIRA/BIRET R. SARA/R. A. GUTTORM: Gilsu/Skilfu B
(副題“Electric Jazz Yoik Poetry”。二人の女性ヨイクのシンガーと一人の女性の語りによる先鋭的なヨイク音楽。音楽は語りを中心にしてヨイク・スタイルのヴォーカルがバック・ヴォーカルを務め、或いはコーラス、或いはヴォーカルで共演し、二人の演奏家が土俗的で妖艶なサウンドを鳴らす。音楽の核にヨイク本来の呪術性が脈を打っていて、その革新志向の音楽性と相まって圧倒されてしまう。2012 作。DAT)

[CD/ICELAND]

- *FUNI: Flúr C

(Funi は Bárá Grímsdóttir と Chris Foster のデュオ。英国トラッド・シンガーの Chris Foster がアイスランドのトラッド・シンガーの Bárá と活動を始めたのは 2001 年。本作の主演は Bárá。Chris は Bárá の清いシンギングを引き立たせるような役目で、ギターを爪弾き、ハーモニーする。本作は二人が見つけたアイスランドの民謡集の色合いが濃い、英国トラッドの美意識を高めた凛とした孤高感はアイスランドの極北感とイメージが重なって、珠玉の北欧トラッド・アルバムとなっている。Chris の Bárá のシンギングに寄り添う巧みなギターの伴奏も耳に心地よいが、アイスランドの擦弦楽器のラングスピルやカンテレやハンマードルシマーの伴奏も極北感が感じられて、雪の結晶を見るように清々しい。本作は Chris Foster の新作“Hadelin”を本人から仕入れたときに Chris から教えてもらって知った CD です。ちなみに Bárá の 2003 年作“Funi”はタムボリンのベスト・セラー。2013 作。Green Man Productions)

- *OLOF ARNALDS: Innundir Skinni A
(新たにデザインされた Olof の顔が表紙の特製ジャケット装丁。ケースを外せば元の装丁。本作が二枚目という不思議な魅力のアイスランドの女性シンガーだ。Olof のうたう声は今にも消えそうなか細い声で、気まぐれそうな独特の唄は、Vashti Bunyan や Tony Kosinec とイメージが重なる。“Surrender”という唄ではアイスランドの鬼才シンガーの Bjork がゲスト・ヴォーカルで、呪術的ムードを振りまき、極北的神秘性を極めてもいる。唄はアイスランド語と英語。極めて稀有な魅力の愛すべき SSW だ。2010 作。One Little Indian)

[CD/DENMARK]

- *HELENE BLUM & HARALD HAUGAARD: Julerosen B
(デンマークの歌姫 Helene Blum とデンマーク屈指のフィドラーの Harald Hugaard のデュオによる新作。本作はクリスマス・シーズン向けの「祝祭」と「祈り」のアルバムで、Helene のレパートリーはデンマークのトラッドや Emil Bønnelycke のようなデンマークの詩人の詩や隣国のトラッドにまで及び、それらの「祝祭」と「祈り」の詩歌を芯のしっかりした美声で、軽やかに、厳かに、楽しげにシンギングする。クレジットにはない 11 曲目に収められたヒドゥン・トラックは、Helene の清楚なシンギングによる胸キュンな曲。Timo Alakotila, Tapani Varis, Leo Svensson, Mikkel Grue, Sune Rahbek のフィンランド、スウェーデン、デンマーク混成のバンドの音楽は北欧トラッド+独創的な音楽を創作している。DVD 型 CD。2016 作。Westpark)
- *FROMSEIER ROSE: Contradiction B
(スコットランドやアイルランドのフィドル音楽に影響を受けたという女性フィドラーの Fromseier Rose と米国人ピアニストの Michael Rose の二人組。Michael は縁の下のか持ちというか、脇役的立場で、主にアイルランドとスコットランドの曲を Fromseier は、優美に晴れやかに演奏する。女性的というか、ヨーロッパ的というかトラッド的な土臭さが薄いのが、清々しい。そんな中、アイ

リッシュ・シンガーの Niamh Parsons が三曲で、見事なシンギングを披露し、釘付けにする。限定再入荷。Fromseier Rose)

- *BONEZONE: In Session B
(ZAR や Moving Cloud のメンバーらによって結成されたアイリッシュやスコティッシュをレパートリーにする五人編成のバンド。心地よいバンジョーとフィドルの響きと共に田舎っぽいというかのほほーんと心地よい音楽を風のように演奏する。Yirdy のヴォーカルは渋い渋い。2007 作。Go')
- *HARALD HAUGAARD: Burning Fields B
(トラッド、ジャズ、ロック、ハードロック、クラシック等等など、好きな味付けで、自由自在にフィドルを演奏しまくる。おまけにデンマーク随一の歌姫の Helene Blum の美声を 2 度も活用してもいる。創作意欲満開の多才で多彩な Harald の百花繚乱音楽。w. Helene Blum, Roger Tallroth, Tapani Varis, Rasmus Zeeberg, Sune Rahbek, etc. 2009 作。Pile House)
- *LYDOM & HOIRUP: Svip Svap Svovlstikke B
(両人ともデンマークのフォーク・シーンではヴェテランの、片やアコ&ハーモニカ奏者の Sonnich Lydom と片や世界的ギター奏者の Morten Alfred Hoirup のデュオ・アルバム。本作は Lydom が見つけ出したデンマークの伝統曲を中心に選曲で、軽快なダンス曲を中心に中世風ダンス曲等を多彩に演奏する。2010 作。Go')
- *HAUGAARD & HOIRUP: Rejsedage / Travelling D
(7 度もの賞受賞のフィドルとギターの二人組の結成 10 周年記念 CD/DVDセット。Haugaard の家の森の中で収録された本作は半分がデンマークのトラッドで残り半分が二人のオリジナル。デンマークのフォーク・ミュージックの発展に貢献してきた名演奏家二人による数々演奏はルーツ回帰的で美しく、そして華やかである。故郷の音楽と旅の記憶を心で奏でた素晴らしい音楽。w. Tapani Varis, Sonnich Lyddom, Sune Hansbaek。DVD は PAL で 2007 年のコペンハーゲンの小さなカフェでのライヴで 38 分とインタビューが 41 分。英語字幕付。2008 作。Go')
- *HAUGAARD&HOIRUP: Gaestebud/Feast B
(Haugaard&Hoirup の本作は欧米の音楽仲間達 {Sofia Karlsson, Ale Moller, Le Vent Du Nord, Alasdair Fraser, Natalie Haas, Karen Tweed, Helen Davis, Eileen Ivers, Karen Mose&Helene Blum, Niall Keegan, Channe Nussbaum 等} をゲストに迎え、ある時は彼等を立て、ある時は彼等と競演し、音楽を楽しみかつ新たな友情的交配音楽をごく自然に流れるように生み出している。2005 作。Go')
- *HAUGAARD&HOIRUP: Let's Dansk! B
(Haugaard&Hoirup の 2001 年のドイツでのライヴ。フィドルとギターとでデュオ・トラッドの素晴らしさを生き生きと楽しませ味わせてくれる最高のライヴ盤。全 15 曲。ハウガールのフィドルは既に天下一品！英語曲目解説付。2001 作。ドイツ Stockfish)
- *HARALD HAUGAARD・ANDERS MOGENSEN: Spirits B
(H. Haugaard の本作はヴェテラン・ジャズ・ドラマーとの共演。デンマークのフィドル曲や中世バラッド等デンマークのフォーク・ミュージック中心の選曲。実際には Anders のバンド仲間のギターとダブルベースも参加し、Harald&ジャズ・

バンドによるダニッシュ・トラッドと言えるもの。2004 作。Go')

*AFENGINN: Akrobakkus

A

(バルカン音楽っぽいものやクリスマスっぽいものやジャズ音楽っぽいものやウケ音楽っぽいものをちゃんこ鍋にして煮込んで栄養満点のご馳走音楽を創作。2005 年の“Danish World”賞優勝。2006 作。Tutl)

*EIVOR: Live

A

(フェロ諸島の歌姫 Eivor Palsdottir のライブ集。Eivor はアイスランドの音楽賞 3 部門入賞やシンガー&ソングライターコンペティション優勝等ワールド・クラスの女性シンガーであることはご存知の通り。本作は 2009 年 10 月の東京でのライブを含む様々な場所でのライブ集。妖精に最も近い感性を持つシンガー。2009 作。Tutl)

*KARL SKAARUP: Musiker

A

(fRoots 誌で絶賛した評者だけではなく、この 85 年の音楽人生を数える 85 歳の老人の若々しいアコーディオン演奏には舌を巻く。この歯切れのよいリズムが何とも気持ちいいし、長年ダンスのための音楽で培った自信のようなものが一音一音から体感できる。孫の年齢の Kristian Bugge がフィドルで一体となった演奏を繰り広げるが、音楽には年齢差は一切ない。P20 の英語ブックレット付。2009 作。Go')

*ESKIL ROMME: Himmerlandsmelodier

A

(1982 年からデンマークの田舎で農夫をしながら音楽生活を愉しんでいるというソプラノ・サクソ奏者の四季折々の風薫る音楽。西風や野原や生き物や家族や旅や春夏秋冬等からイメージを膨らませた音楽。本人は Karen Tweed {イングランド}, Morten Alfred Hoirup {デンマーク}, Avi Solomon {カナダ}, Ditti Fromseier {デンマーク}, Peter Rosendal {デンマーク}, Andrzej Krejniuk {ポーランド} 等の客人を迎え、共に演奏すりことを愉しみ、客人達は Eskil のサクソから生み出される音楽の風景を共に愉しんでいるかのよう。心優しい音楽。2009 作。Tutl)

*SERRAS: 0

B

(Herald Haugaard {フィドル}, Hans Mydtskov {サクソ}, Sune Hansbaek {ギター}, Sune Rahbek {トランブス}, Mads Riishede {ベース} のフォーク・ロック・バンド。彼らが創作するフォーク・ロックはどこか北欧独特なメロコリクさを漂わせ、地響きするほど重厚。夏の開放感ある北欧の音楽とは対照的な冬の間の憂鬱さのようなもの感じられるもの。2008 作。Go')

*SERRAS: Secondhand

B

(Herald Haugaard もメンバーの Serras の 2001 作。横綱級フォーク・ロックで圧倒する。マルチメディア機能付で、CD-ROM にはコンサート・ビデオ収録。Go')

*ANJA PRAEST MIKKELSEN: Hemmeligheden/The Secret

B

(女性クラリネット奏者 Anja の本作はその響きからクリスマス・クラリネットの響きと重なるが、よく聴けば、生み出される音楽は詩情豊かで、音楽はデンマークのダンス音楽の範囲の音楽。彼女の両親はフォーク・ダンサーという。完全な独奏はなく、フィドル、ピアノ、リュウゲルホーン、アコ、ギター、チェロ、タップなどとの共演で、繊細で瑞々しい女性的な感性が全編に行き渡った品のよい曲集として結実している。2008 作。Go')

*BALTINGET: Alive

B

(フィドル、アコ、ギター、ベース、パーカッションの今最も勢いのある 5 人組ダンス・バンドの本作は古い楽譜集などから見つけ出したダンス曲などを生き生

き踊れる曲に蘇らせている。これぞデンマークのダンス音楽。イングリッドなら Old Swan Band かな。2008 作。Go')

- *POUL LENDAL:Onskebarn B
(この P. Lendal なるマルチ・インストゥルメンタリストによる本作のスケールの大きさには恐れ入る。フィドルが一番の得意楽器のようだが、アコーディオンやニッケルハルパ {と想われる} やカテレや口琴等をフィーチャーし、トラッドのグループ編成で繰り広げられる音楽はデンマーク~北欧のダンス音楽やトラッドの薫り濃厚。w. Karen&Anna Mose, Morten Alfred Hoirup, Bitten Lendal, Keld Norgaard, Carl Erik Lundgaard, etc. 全 22トラック。2005 作。Go')
- *KIRSTINE SAND:Det Dansende Par B
(Carl Nielsen Academy of Music 出身の若手女性フィドル奏者の瑞々しいデビュー・アルバム。2007 作。Go')
- *KRISTIAN BLAK&YGGDRASIL:Askur C
(1981 年結成のフェロ・諸島のジャズ・ロック・バンドの新譜。2 枚組。1982~2006 年の間のライブ音源からの編集盤。5 曲で Eivor Palsdottir がヴォーカル担当。2007 作。Tutl)
- *FAERD:Faerd A
(Back In Stock。Karen Tweed と Ian Carr を含む 5 人組の 1 枚目。英語解説付。2002 作。Tutl)
- *FAERD:Logbok A
(デンマークのフィドル名手の Peter Uhrbrand にアコーディオンとサクソとヴォーカルの Eskil Romme そしてスウェーデン人ギター&ベース奏者で Trio Mio の Jens Ulvsand のトリオ。フェロ、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、オランダ、シエラ Leone、Karen Tweed に捧げた曲や Karen Tweed に教わった曲等フェロ周辺の音楽を前作同様波に揺られるように心地よく演唱する。圧巻はゲスト・ヴォーカルの Julie Hjetland の 2 曲。2006 作。Tutl)
- *TOVE DE FRIES&MALENE D. BECK:Balance B
(フィドルとピアノによる優雅なダンス曲やケープ・ブレトンスタイルのダンス曲等など軽やかに演奏する。フォーク・ダンス・ファンにはくすぐられる音楽。2003 作。BAL0103)

[CD/SWEDEN]

- *DOGGERLAND:No Sadness Of Farewell B
(英国人 Richard Burgess {ヴォーカル、コンサティナ、ギター他} とスウェーデン人北欧トラッドの名演奏家 Anders Ådin {ギター、ハーモニカ、ティンパニ} の二人組 "Doggerland" のデビュー作。聴くなりリスニング・ルームの空気が変わった。英国フォーク & トラッド的感性なのだが、おそらく北欧の自然環境や生活やトラッドの影響だろう。感性が清々しくって、夢想的というか、Richard のシンギングもイングランド、北欧トラッド混在のアコースティック・サウンドも、その究極の美しさに息をのむ。Richard Burgess なるシンガーの名は初耳なのだが、彼のシンギングに加えて、Anders の演奏を含む二人の演奏の見事さは、まさに孤高。英国の伝統歌や北欧の伝統歌に加え、Ewan MacColl や Richard Thompson 曲などを Doggerland ならではの感性で彩りきっている。w. Kevin Henderson, Mats Eden. 2017 作。Westpark)

- *KRAJA: Isen Sjunger B
 (2016年のクリスマスに Kraja 結成 15周年を迎えたスウェーデンの女性四人組アカペラ・グループの Kraja のクリスマス・アルバム。本作は 5 枚目。本作は伴奏は一切無し。スウェーデン他の伝統的なクリスマス・シーズンの唄を中心に純白な四つの歌声でアカペラする。その宇宙的で瞑想的な神聖さは、ふとアイルランドの Anuna を思い浮かべる。唄もジャケットもブックレットもすべてが純白色。そしてディスクは・・・氷の世界？2016 作。Westpark)
- *RAMLOSA KVALLAR:Nights Without Frames(1993 作。Resource)C
- *KEBNEKAJSA:Electric Mountain(1993 作。Resource) C
- *GARMARNA:Vitrad(1995 作。Xource) B
- *GARMARNA:Hildegard Von Bingen(2001 作。MNW) B
- *GROUPA:Fjalar B
 (Sofia Karlsson がヴォーカルの Groupa の 2002 年作はスウェーデンのトラッドの奥行き深く、清新なスピリットみなぎる無敵のトラッド。北欧トラッドの傑作。2002 作。Xource)
- *AHLBERG, EK & ROSWALL:AER C
 (Ranarim のメンバーでスウェーデンを代表するニッケルハルパ奏者の Niklas Roswall と女性フィドル奏者の Emma Ahlberg とギター奏者の Daniel Ek のトリオの三枚目。スウェーデン北部のメーデルパッド地方の古いフィドル曲や祖父から学んだ曲や複写本から見つけ出した曲などフォークやクラシックのジャンルを超えた曲をトラッド・ミュージシャンとしての鋭い感性で愛情深く演奏した素晴らしいアルバム。魂の響演と言ったら、堅苦しくなるが、そう言いたくなるほど、響演の質が非常に高い。音の響きすべてが、誠心誠意磨き抜かれた北欧サウンド。2015 作。Westpark)
- *ULRIKA BODEN:Ratt Nu Ar Det Pa Tiden A
 (Ulrika が個人的に影響を受けたフォーク収集家 Frans Bergvall {1903-95} と古代の歌唱スタイルを受け継ぐシガ-の Karin Sikstrom {1899-1981} の二人から学んだ伝承歌集。2004 作。Drone)
- *DRAUPNER:Halsingland C
 (Henning Andersson {フィドル}, Goran Antonsson {フィドル}, Tomas Lindberg {ギター} の男性三人組の Draupner の本作は彼らの出身地「ハルシングランド」をタイトルにしたアルバム。二台のフィドルと一本のギターが紡ぐ音楽の何と美しいこと！雪が舞う音楽というか、雪の結晶のような音楽というか、二台のフィドルは絡み合いながら北欧のダンスのリズムで舞い踊りするのだが、その演奏の緩急が見事で、勢い北欧トラッドの極めつけの美しさを描ききっている。2013 作。Dimma)
- *SIMON SIMONSSON, OLLE SIMONSSON, KJELL-KRIK ERIKSSON & JOEL BREMER:Pigtjusarsvang C
 (1945 年、1947 年、1971 年、1978 年生まれのフィドル奏者三名とギター奏者一名の偏った編成のスウェーデンのダンス音楽グループ。四人の楽師が奏でる音楽は彼らが普段の暮らしの中で、愛し、楽しんだダンス曲。味のあるフィドルの音が最高。2013 作。Dimma)
- *TRANOTRA:Trading Nordic Tradition C
 (スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマークの四名 {一姫三太郎} の若者による

汎北欧トラッド・バンドの爽快デビュー作。楽器編成はフィドル二台、アコーディオン、クラリネット。この四名、若造だからと言って馬鹿には出来ない。いやはや北欧トラッド風味溢れる爽やかな音楽は物凄く気持ちが良い。即席のバンドで、音合わせ程度のレベルかと思いきや、複合的な演奏の妙技が素晴らしく、しかも音楽がタイト。クラリネットの低いリズム的な音が結構面白い。2013 作。Gammal thea)

- *HOVEN DROVEN:Rost A
(Hoven Droven の 2011 年作。2011 作。Westpark)
- *HOVEN DROVEN:Hippa A
(Hoven Droven の Great な 2001 年作。Home)
- *HOVEN DROVEN:Turbo (Great!2004 作。Home) A
- *CHRISTER LUNDH:Di Gamlaste Bidana B
(1962 年にテープ・レコーダーを買って以来、老人の唄や音楽や語りの録音は何百にもものぼるといふ。Christer は伝統歌や数百年前作曲の唄等を微妙にノドを震わせて、うたい聴かせるようにうたう。この震えた感じと穏やかな歌唱がルンツぽいといふかスウェーデンの古謡の不思議な魅力を生んでいる。様々な古びた唄が Christer のぬくもりのある唄を通して、魅力的な物語歌へと変身を遂げる。2009 作。Nordic Tradition)
- *MIKE MARSHALL & DAROL ANGER WITH VASEN B
(M. Marshall {マントリン}&D. Anger {フィドル} とスウェーデン屈指のトラッド・トリオの Vasen との共演盤。は強烈。Vasen の音楽を核に、Mike&Darol が巧みな演奏で彩りとエフェクトを注ぎ、多彩で多重な音楽を創作し、その高度なレベルで持続し続けるテンションは圧巻。いわばパワーアップした新生 Vasen。2007 作。Adventure Music America)}
- *OLOV JOHANSSON:I Lust Och Glod C
(Vasen のニッケルハルプ奏者の Olov のソロ 2 枚目は自身の小さな小屋で録音したもので、極力シンプルにソロ演奏又は友人演奏家とのデュオで演奏したもの。Olov のニッケルハルプ音楽を愛する心が伝わってくる珠玉の 22 曲。2007 作。Drone)
- *PEROLS GUDMUND OLSSON:Fiddler From Rattvik C
(“Historical Recording Of Swedish Folk Music IX”。Rattvik というところのフィドル奏者 {1890~1981 年} の 1970 年代の音源から 38 曲。約半数はダンス曲のホルスカ。スウェーデンのフィドラーの精神が脈打つ演奏の数々。P32 のブックレットは英語解説他にレトロな風俗写真など。ブックレットのオチキスにビビ有り。2004 作。Hurv)
- *SVANEVIT:Gryning C
(Svanevit のデビュー作。身が引き締まるほど気高く清々しいスウェーデンのトラッドだ。英語解説付。2005 作。Westpark)
- *KERSTI STABI:Ute Blaser Sommarvind C
(Alice Tegner という音楽家のカバー集。草原の薫りの北欧トラッド。
w. Erik Rydvall {ニッケルハルプ}, Anders Lofberg {チェロ}, Magnus Zetterlund {マントリン、ハーモニカ} 他。全 19トラック。2008 作。Modesty)
- *NARA:Om C
(Nara は元 Gunnfjauns Kapell で Gotland 出身の名女性トラッド・シンガーの Gunnel Mauritzson とストックホルム出身で国民的人気のフィドルの大御

所 Bjorn Stabi とアコーディオンの大御所 Bengan Janson のトリオ。Gotland のトラッドほかスウェーデン各地の伝承歌を Gunnel はスウェーデン・ポップ・トラッドの芳香薫る美しい唄を素朴にうたう。絶品。2006 作。Caprice)

- *GUNNEL MAURITZSON:Raisu Aut B
(元 Gunnfjauns Kapell で現 Nara のシガーの Gunnel の隅から隅みまでスウェーデン色の美しいスウェーデンのトラッド・アルバム。w. Roger Tallroch, Hans Kennemark, Rickard Astrom。2003 作。Xource)
- *ALE MOLLER:Hasten Och Tranan C
(名盤。w. Lena Willmark, Roger Tallroth, Ellika Frisell, Olle Steinholz。96 作。Amigo)
- *MAGNUS STINNERBOM&DANIEL SANDEN-WARG:Harv C
(フィドル・デュオでスタートした Harv の実質的デビュー作。97 作。Amigo)
- *KEBNEKAIJSE:Electric Mountain B
(11 曲入編集 CD。73/75/76/77/93 作。Resource)
- *SALTA:Salta B
(理想の北欧トラッドの一枚。Ulrika 嬢の美味シンギングがフィーチャーされたトラッド〜フォーク・ロックはあの Folk&Rackare を彷彿。必聴。97 作。Amigo)
- *BASK:Slakt B
(フィドル、サクス、フルートのトリオの確か 2 枚目。フィドルやフルートと同等にサクスが太い低音でトラッドし、ホルスカを舞う。北欧トラッド臭ふりまくフィドル&フルートと太く色彩感あるサクスが螺旋に絡み、自在にハーモニスする。不思議な色彩感漂う大人のトラッドである。2002 作。Xource)
- *HEDNINGARNA:Kaksi (92 作。Silence) C
*HEDNINGARNA:1989-2003 ¥1990
(Hedningarna の偉大さが解る全 18 曲入編集 CD。2003 作。NorthSide)
- *KENNY HAKANSSON:Hjartats Gatbok B
(「スカンディナビアの哀愁に彩られた元 Kebnekaise の K. Hakansson のソロ。Kebnekaise の音楽とも、また前作のギター・アルバムとも全く違う哀愁の SSW アルバム。ギターはさずがに鮮やか。2001 作。Hawk)
- *CHATEAU NEUF SPELEMANNSLAG A
(副題“New Roots from Norway”。様々な音楽性を持つ連中によって結成された若きトラッド・バンド・バンド。生粋のトラッドからロックやジャズ風まで。96 作。トイフ Feuer&Eis)

[CD/FINLAND]

- *MAIJA KAUFANEN:Rai vopyöra B
(Folk' Avant のカンテレ奏者の Maija Kauhanen のソロを聴いて驚いてしまった。というのも Maija はカンテレ奏者としてのみではなく、トラッド・シンガーとして天才的で、フィンランドの伝承歌に宿る魂のようなものを吸い上げて、消化して、独自のセンスでシンギングするのだから。カンテレの伴奏もちょっと今まで聴いたことがないようリズム感豊かな、まったく退屈しない鮮やかな演奏で、それも不思議とワクワクさせられる演奏で、ある種妖気さえ漂う彼女のシンギングは、そんな彼女のカンテレの演奏を伴って、彼女のオリジナルなフィニッシュ・トラッドな世界を見事に創作している。圧巻。2017 作。Nordic Notes)

- *ARTO JARVELA & KAIVAMA:Arto Jarvela & Kaivama A
 (Arto{フィドル、ニッケルハルパ}とKaivama{Sara Pajunen=フィドル&Jonathan Rundman=ギター、マンドリン、ピアノ}との共演は、フィンランド系アメリカ人のSaraが2010年にフィンランドにフィドルを学びに訪れたことに始まる。翌年ArtoがアメリカツアーのことでSaraに接触。結果一緒にツアーが実現。本作の録音は米国。フィドル二台、又はフィドルとニッケルハルパをフィーチャーしたサウンドは、屋外で気持ちよくライブ演奏しているような自然な抑揚のある音楽で気持ちが良い。師と生徒でありながら、音楽がとても調和している。2012作。Salt Lady Music)
- *KTU:Quiver B
 (BBCでPlanet 賞受賞のフィンランドの新進気鋭の音楽家Kimmo Pohjonen [アコ、ヴォイス]率いるKTU[発音はK2]の新作。KimmoにTrey Gunn[ギター]、Pat Mastelotto[リズム装置]のトリオによる捉えどころのない宇宙的変幻自在音楽。フレンチブルーム気分。2009作。RockAdillo)
- *LIISA, TELLU, TAITO&TALLARI:Runolautanssit C
 (2000作。Kansanmusiikki)
- *TROKA:Troka(94作。Olarin) C
- *ZETA BOO:Outer Rail 0 B
 (Anna-Mari Kahara[ヴォーカル、アコ他]、Pekka Lehti[ベース]、Jorma Saari[ギター、カヴァーキーボード、トロンボーン、ラップスティール、キーボード、パーカッション]、Marko Timonen[ドラムス、パーカッション]の4人組バンドが創作する音楽は南国志向の桃源郷音楽。2006作。Aito)
- *ARTO JARVELA:Far In! B
 (フィンランド屈指のフィドル奏者Artoの2004年作。OArt Music)
- *ANNA-KAISA LIEDES:Utua(2004作。texicalli) B
- *GJALLARHORN:Nordheim A
 (ヴァイキング・ロック・バンドのGjallarhornの豪放なロック。2005作。SPV)
- *ALAMAILMAN VASARAT:Kaarmelautakunta B
 (北欧感性に裏打ちされたバルカン風ロック。2003作。Silence)
- *BARKA VALI:Skogsflot B
 (ホーンズ湾のオーランド島の7人組強力フォーク・ロック・バンド。言葉はスウェーデン語。トラッドとロックが四つに組み、かつ二人の女性ヴォーカルが北欧の神秘性を振りまく、といった正当的北欧フォーク・ロック。2000作。Barka Vall)

[CD/NORWAY]

- *FOLQUE:Folque C
 (ノルウェーのフォーク・ロック・バンドの一枚目。1975/1993作。Pan)
- *GJERMUND LARSEN TRIO:Salmeklang B
 (Gjermund Larsen[フィドル]とAndreas Utne[m{ピアノ他}]とSondre Meisfjord[ダブルベース]のトリオによる本作は、何よりリーダーのGjermund Larsenの極北的な感性抜群の北欧フィドルに心奪われる。北欧の伝統的なフィドル・ミュージックを消化し、昇華したようなハイセンスの夢のように美しい北欧フィドルを奏でる。音楽

が頭の上で舞う感覚。弓弾く指の先まで、細かな神経が使われていて、細く繊細な音の表現力が抜群な上に、ダンスブルな曲もスリリングで抜群。まさに天才フィドラーだ[風貌も?]。10曲中後半の4曲はトラッド・グループ“Nordic”との共演で、Gjermundのフィドルをフィーチャーしつつ、ノルウェーのトラッドの香りをほのかに発させている。2017作。Galileo)

*PER ANDERS BUEN GARNAS:Greinir B

(ノルウェーのハルディングフェーレ奏者の Per Anders Buen Garnås の極北的感性で貫かれた完全無欠のハルディングフェーレ音楽。本作はノルウェーの伝統的ダンス音楽の Springar と Gangar とを中心にしたノルウェーのダンス音楽を Per Anders はハルディングフェーレの持つ民俗的な響きを強調しながら、まるでメディテーションするかのように自由な音楽を創作する。唯一無比の素晴らしい北欧トラッド・アルバムだ。ある種、北欧の星降る夜空を旅する気分。全 13 トラック。2014 作。Ta:lik)

*SIGRID MOLDESTAD:Sandkorn B

(ノルウェーを代表する女性フォーク・シンガーの Sigrid の本作はスコットランドの Robert Burns 作の名曲 3 曲と伝統歌 2 曲と残りは Sigrid の自作曲という曲目で、自身が奏でるハルディングフェーレ等がノルウェーのトラッドの薫りを撒き散らす中、Sigrid の軽やかな節回しの唄は北欧風味を薫らせ、詩情豊かで美しい。2010 作。Heilo)

*TRITULEN:Tritulen B

(Tritulen は Ebba Jacobsson をヴォーカルに据えた女性 2 名と男性 1 名のトラッド・グループ。ノルウェー西海岸の伝統曲を中心にした選曲で、Ebba のシンギングもフィドル、ギター、アコの演奏も極北トラッドの薫りを発するが、ストイックな極北性ではなく、穏やかでほんのりと牧歌的な極北性。Ebba のリルティングも新緑の森の中を口ずさみ散歩するような爽快気分のリルティク。2012 作。Etnisk Musikklubb)

*JENNY LYSANDER:Northern Folk B

(理想的なブリティッシュ・フォーク・スタイルの女性 SSW アルバム。レコーディングは美しい自然環境にある田舎のスタジオ。これまでも「Nic Drake 風」と持ち上げる SSW アルバムが何枚かあったが、本作は「Nic Drake 風」なアルバムの中では、清々しく健やかな「Nic Drake 風」なアルバム。Jenny の夢は空想ロマ。新鮮な空気を運び込む繊細極まりないアコースティック・ギターの演奏と共に、優しく空想ロマの世界へと誘われる。歌詞は英語。2015 作。Beating Drum)

*TORE BRUVOLL・JON ANDERS:Halvorsen Nattsang B

(ノルウェーの Telemark という地方のトラッド集だが、Jon のシンギングは清流の清々しさ。終始神経の行き届いた感性鋭いギターで付き合う Tore のギターが全体の空気を清らかに引き締めている。身震いの逸品。2004 作。Grappa)

*FRA DE MOLLSTEMTE SKOGER:Sa Lengi Du Kjaem Att B

(Fra De Mollstemte の一枚目。北欧トラッドではない。むしろ一輪の花的な女性ヴォーカルをフィーチャーした北欧のフォーク・ロック・バンドの線上の北

欧アコースティック・フォーク・アルバム。アコースティックだが、ギターやチェロやフィドルの演奏は深く北欧サウンドを奏で出していて、北欧的情緒を発している。彼らが生み出す世界は、70年代ブリテン・フォークの夢心地な世界と通じる。ただ、壊れそうに美しい高音の女性がヴォーカルは、極めて北欧的だが。2012作。Ta:lik)

*BLATT GADN:Blått Gådn C

(Blått Gådn はノルウェー南部のヴァルダリス地方の三人組=Ingvild Lie {ヴォーカル、ランゲレイク}, Harald Høyvik {ギター、マントリン}, Lars Skattebu {ハルモニウム} = のトラッド・グループ。民俗楽器のランゲレイクを爪弾きうたう Ingvild のシンギングは、ある種マウンテン・ダンスをかき鳴らしたうたうアパリア民謡を連想させるが、当然ながら、ノルウェー流のトラッド・シンギングはノルウェー民謡風だし、ダンス風の音色はノルウェーの土の香りを放っている。二人の男性ミュージシャンは、Ingvild の引き立て役。一歩下がって、引き立て役に徹しているのが功を奏している。Ingvild の自然な節回しと音楽全体を覆う穏やかさが心和む。2013作。Ta:lik)

*SUDAN DUDAN:Inntil I Dag C

(Sudan Dudan は Marit Karlberg {ヴォーカル、ランゲレイク} と Anders E. Roine {ヴォーカル、ギター、口琴} の男女の二人組。彼らの音楽は11曲中8曲がノルウェーの伝統歌。しかし彼らのトラッドは彼らのフィルターを通して創作された魅力的な北欧印トラッド。リード・ヴォーカルの Marit のシンギングはきっちりとノルウェーのトラッド・シンギングを身につけた上で、様々な伝統歌に身を寄せてうたう。Anders がつま弾く典雅なギターと Marit が奏でる素朴で土俗的なノルウェーの民俗楽器のランゲレイクの伴奏が、Marit のシンギングをある種の緊張感の中で、引き立てている。2013作。Ta:lik)

*TRON STEFFEN WESTBERG:Gammelpols C

(スウェーデンとの国境に接するノルウェーのレーロス地方のフィドル・ミュージック。レーロスのブレンゲン出身の Tron は「1880年～1890年代に生まれたフィドラー達の古い録音を聴いたとき、彼らのフィドル演奏法は、“ダンスのための演奏”だと感じた」と、ライナーに書いている。Tron の集中力ある演奏は、闇の中を一筋の音が舞いながら美しい白線を描くかのように。究極的に美しい北欧フィドル・ミュージック。ジャケットもブックレットもモノクロの世界。全26トラック。2013作。Ta:lik)

*KELPIE:Live B

(ケルティックな香りを添え、ノルウェーの神秘的妖精の世界を唄と耳に優しく新鮮なアコースティック・サウンドで創作する Kerstin Blodig {ギター、ハウロン、ブズーキ} & Ian Melrose {ヴォーカル、ギター、羊飼いの柳皮の笛、ホイッスル} の Kelpie の本作は、スウェーデンの Kelpie サウンド。このスウェーデンの Kerstin の妖精ヴォーカルは気負いがなく、森の中をそよぐ風のように自然でいい。2010作。Westpark)

*RYDVALL MJELVA:Isbrytaren C

(数曲聴くなり、背筋がゾクゾクとしてしまった。スウェーデンのニッケルハルバとノルウェーのハルディングフェールの音色は似通っていると思っただけだが、その似た特徴と双方が国民的伝統楽器であることに着目し、スウェーデンとノルウェーの二人の若者奏者が共演したアルバムが本作。若者というのは忘れた方がいい。彼らの響き合う音楽を聴けば、その北

欧音楽の美しさに魔法をかけられてしまうだろうから。素晴らしい北欧の音楽と出逢えた。2013 作。Heilo)

- *ELI STORBEEKEN: Songen Til Floyta B
(本作は Mari Boine のフ・ロ・ユーサーの Georg Buljo の勧めで、Egil Storbekken 生誕 100 周年記念に制作された Egil 作曲集。11 曲中、縦笛をフィーチャーしたインスト曲の 2 曲以外は全曲唄もので、Egil の娘 Eli の魅惑のシンキングとルウェーのトラッドをベースにした多彩な音楽で、Egil の広く北歐的に雄大な音楽の世界へと誘う。ルウェーの自然を愛した父親の音楽の心が確かに娘に受け継がれている。2012 作。Echofisk)
- *KIM ANDRE RYSSTAD: Vegen B
(若きルウェーのフォーク/トラッド・シンガーの K. Andre の本作は、伝統歌や中世バラッド等を演唱したものだが、Kim の音楽性は北欧トラッドのスタイルというより、ブリティッシュ・フォーク/トラッドのスタイル寄り。4 曲目の“Heming”はルウェーのフォーク・ロック・バンドの Folque も演唱していた伝統歌。2011 作。Grappa)
- *CAMILLA GRANLIEN & KRISTIN SEVALDSEN: Aftenstemning C
(北欧屈指のトラッド・シンガーの Camilla の本作は女性サクソ奏者兼ヴォーカルの Kristin とのコラボ。Bjornstjerne Bjornson{1832-1910}の詩に Camilla がトラッド調の曲を付け、Camilla のシンキングに Kristin 他のジャズ系のゲスト・ミュージシャンが即興的に伴奏を付けた即興性の高いシンキング・アルバム。ルウェー独特な感覚のジャズ仕立てのルウェー・トラッドだ。2011 作。Ta:lik)
- *BUKKENE BRUSE: Bukkene Bruse B
(Arve Moen Bergset, Annbjorg Lien, Steinar Ofsdal の Bukkene Bruce のデビュー作。1993 作。Grappa)
- *ANNBJORG LIEN・BJORN OLE RASCH: Come Home B
(2009 作。Grappa)
- *UNNI LOVLID: Rite (2009 作。Grappa) B
- *KARI BREMNES: Svarta Bjorn B
(1998 作。Kirkelig Kulturverksted)
- *WIZARD WOMEN OF THE NORTH a
(ルウェーのトラッド・シンガーとミュージシャン{Tone Hulbaekmo, Annbjorg Lien, Sinikka Langeland, Auroa Borealis, Asne Sunniva Soreide, Kirsten Braten Berg, etc}を中心にフィンランドから Tallari{1 曲}と Tellu{2 曲}そしてスウェーデンから Susanne Rosenberg{2 曲}を加えた編集 CD。全 19 トラック。北欧トラッド・シンキングの粋が味わえる。1998 作。Heilo)
- *EPLEMOYA SONGLAG: Eplemoya Songlag B
(女性北欧トラッド・シンキング特有の毅然とした美しさを保持しつつ新鮮な感覚が脈打つ女性ヴォーカル・トリオの鮮烈なデビュー作。リード・ヴォーカルを取る Liv Uivik の伝統的シンキングを Wenche Losnegard と Anja Eline Skybakmoen の二人がリズム楽器や伴奏楽器や喉唄の効果音で強力にバックアップし、Liv のシンキングは天空をかけたか、妖気を帯びたりする。北歐ならではの素晴らしきヴォーカル・ミュージックの世界だ。2010 作。NORCD)
- *FRIBO: The Ha' O' Habrahellia ¥800

(ノルウェー人シンガーの Anne Sofie Linge にスコットランド出身のハルディングフェール奏者でヴォーカルの Sarah-Jane Summers とイングランド出身の口琴、ギター、マンドーラ奏者でヴォーカルの Ewan MacPherson のトリオ。Anne の軽やかで澄んだスクワットを含めたシンギングはノルウェーの女性トラッド・シンギングの理想の風合い。2006 作。Fellside)

- *OLD TIME DANCE MUSIC ¥1980
(副題“Masterpieces from Norway”。ワルツ、ラインダンス、マスルカ、ホムカ等の“Old Time Dance Music”の演奏集。全 23トラック。演奏は Bukkene Bruse 他。ブックレットには「百年の歴史を持つホップミュージック～民族音楽」について日本語でも書かれている。97 作。Grappa)
- *TARJEI ROMTVEIT:Kvenneslatten ¥1980
(1925 年生まれの名ハルディングフェール奏者の Tarjei の名演奏集。発売時 70 歳のいあやはや年齢を感じさせない華麗な演奏だ。全 41トラック。95 作。Buen)
- *STORSKOGEN SPELLMANNBAND:Villspika B
(フイドル、ギター、チューバ、サクソ、クラリネット、ベース、パーカッション他のユニークな楽器編成の 6 人組トラッド・バンド。2000 作。Grappa)
- *BLAMANN BLAMANN:Blamann Blamann B
(「フェアポート・タイプ」のフォーク・ロック・バンド」との宣伝文句だが、きちりルウェーのトラッドがベースになった上で、トラッドからフォーク・ロックまで展開する。2001 作。Grappa)
- *LARS UNDERDAL:Gullfakse B
(Hardingefele 奏者によるダンスパルな音楽。Telemark 地方の音楽。98 作。NOR-CD)
- *CHATEAU NEUF SPELEMANNSLAG A
(副題“New Roots from Norway”。様々な音楽性を持つ連中によって結成された若きトラッド・バンド・バンド。生粋のトラッドからロックやジャズ風まで。96 作。トイツ Feuer&Eis)

[CD/L A T V I A]

- *AUJI & TAUTUMEITAS:Lai Māsiņa Rotājās B
(これは強力。バグパイプと太鼓のグループの Aiji とポリフォニックな女性コーラスをフィーチャーしたワールドミュージック・グループの Tautumeitas が合体したバンドによる本作は、Värttinä がより原初的なトラッドに挑んだかのような大地が躍動するトラッドを体現していて、圧巻。そして何より、Tautumeitas の女性シンガー達のヨーロッパ・ルーツ志向のシンギングが素晴らしい。この手のバンドに太鼓というのは珍しいが、その珍しさが逆に個性になっているというか、どんどん聖と俗が入り交じった中世から太古の民族音楽の世界に引き込まれる感じがする。驚きの一枚。2017 作。Lauska)
- *BRALI UN MASAS:Divējādi B
(Brāji Un Māsas は Kristīne Kārkle{ヴォーカル、ヴァイオリン}なる魅惑の女性トラッド・シンガーがヴォーカルの二姫三太郎のトラッド・グループ。彼らはラトヴィアの伝統歌を彼ら独自のフォーク、ロック、ジャズなどを織り交ぜた音楽センスで演奏し、Kristīne は

どんなサウンドであろうと屈指の揺るぎないシンギングを披露し魅了する。Kristine はトラッド・シンガーとして天下一品保証。他のメンバーは Edgars Karklis {ヴォーカル、アコ、フルト、バグパイプ}, Artis Orubs {トラムス、パーカッション他}, Ilze Grunte {12 弦ギター、ハーフ、バズーン、Andris Grunte {ダブルベース}。2016 作。Lauska)

- *AUJI:Aulos... B
(ご存じバグパイプと太鼓のグループの Aiji の 2007 作。他にギガという大型フィドルやダブルリードの笛にヴォーカルも加わった音楽は各楽器の伝統色豊かなアンサンブルが見事で、勇壮な音楽を華麗にダイナミックに創作している。2007 作。Lauska)

[CD/ESTONIA]

- *TRAD·ATTACK!:Kullakarva B
(前作“Ah!”ショックがさめやらぬうちに早くも新譜。メンバーは前作と同じく Sandra Sillilamaa {ヴォーカル、エストニア・バグパイプ、口琴、ホイッスル他}, Jalmar Vabarna {12 弦ギター、ヴォーカル}, Tõnu Tubli {トラムス、ヴォーカル、グロックスピール} の三名。快進撃は本作でも。エストニアの古謡や民謡などエストニア人の心の唄を彼ら独自のトラッドやロックを超えた表現方法で、ラディカルに演奏し、シンギングする。Sandra のシンギングも創作されたサウンドも、魂の響きそのものというか、エストニアに生きた人の霊がのり移ったかのよう。今日のトラッド〜ワールド・ミュージック・シーンで、彼らは別格。シーンを牽引する実力派だ。2017 作。Trad·attack Music)
- *MAARJA NUUT:Une Meeles B
(Maarja 嬢はエストニアの神話や伝説そして 20 世紀初めのフィールドレコーディングなどを研究し、唯一無比の優れたエストニアのトラッドを創作する。彼女のシンギングとフィドルの演奏は伝統に強く根ざしながらも、いにしえのエストニアに誘われるような夢幻性を帯びていて、先鋭性と孤高感が感じられるもの。全てが秀逸。2016 作。Maarja Nuut)
- *SOFIA JOONS·EMMA HARDELIN·MEELIKA HAINSOO
:Strand...Ran B
(三人の歌姫によるスウェーデンの最高レベルの女性トラッド・シンギングを聴く感触のエストニア西海岸の伝統歌集。Sofia はエストニア系スウェーデン人、Emma は Triakel、Garmarna のヴォーカルでスウェーデン人そして Meelika はフォーク・ロック・バンドの Vagilased のヴォーカルでエストニア人。唄は弓奏ハーフ、フィドル、チーなど素朴な伴奏或いは無伴奏でうたわれていて、歌姫それぞれがまっすぐな孤高のシンギングで魅了する。2001 作。Johanson&Vennad)
- *KART JOHANSON:Seitse Une Nagu B
(ストーリーテラーで女優の Kart が 2000 年以上の歴史を持つと言われているルンソングをうたったアルバム。Kart の唄はミンクのようなだったり意味不明な言葉遊びや呪文のような唄だったり、賛美歌のようだったり、不思議不思議。2004 作。Arm Music)
- *SILD:Tro B
(エストニア人でヴォーカルと Hiiu-Kandled というエストニアのフィドル系楽器奏者の Sille Ilves とギター&ハモンド・オルガンの Martin Leamon のウェールズで活

動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウエルス とエストニア の伝統歌だが、Sille の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいシンギング とスクワットは絶品だし、彼女が奏でる民俗性高いやはり野趣な味わいのエストニア の伝統楽器の Hiiu-Kandle は荒れ野の原へと誘う。野性と夢性が宿る唄を気高くうたいこなしている。2008 作。Fflach)

[CD+DVD/BELGIUM, FLANDERS] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVDプレーヤー/パソコンでのみ再生可能

*RUM: 1972~1978

¥2980

(ベルギーのトラッド・グループ Rum の 72 年 74 年 75 年 78 年発売の 4 枚のアルバム収録の 2 枚組 CD とライヴ DVD のセット。男性 3 人組 {4 枚目では紅一点の女性ヴォーカル Vera Coomans が加入} の Rum は独自のヨーロッパ 的格調あるヴォーカルとトラッド・サウンドを生み出している。DVD は当時の貴重なライヴ映像集でアペラから民族楽器の伴奏の彼ららしい格調高く典雅なトラッドそしてルサス音楽風味のまで彼等の演唱が楽しめる。72/74/75/78/2005 作。Universal)

[CD/BELGIUM, FLANDERS]

*TRIO DHOORE: Madus Operandi

B

(Koen {アコースティック&エレキ・ハーモニカ・ギター}, Hartwin {アコ、ホイッスル、バグパイプ} & Ward Dhoore {ギター、マンドリン} の三兄弟による心うきうきなデビュー作。久しぶりに聞く Blowzabella スタイルの音楽。三兄弟の音楽もハーモニカ・ギター、アコ、バグパイプを要にした楽器編成と中央フランスのダンス音楽をベースにした音楽性は、Blowzabella と重なる。三兄弟は小編成を活かして、リズムが自由に遊び感覚とおしゃれっぽさがある。聞き流していて、気持ちが良い。2013 作。Appel)

*SURPLUS: Dat Ik Zingen Moer!

B

(ベルギーのトラッド・バンドの Surpluz の新作。メンバーは新加入の Steven Goossens {アコ} に Jeroen Knapen {ギター、ヴォーカル}、Bart Knapen {クラリネット、ヴォーカル他}、Pieterjan Van Kerchhoven {バグパイプ、サクソ、ヴォーカル} の四人編成のバンドに、さらに Jonas Cole と Hanneke Oosterlijck の男女のシンガーが加わって、パワーアップ。全曲伝統歌で、二人のシンガーの悲喜こもごもとしたソロとデュエットは心に響き。心躍る。2016 作。Appel)

*SURPLUS: Laat Ons Drinken!

B

(Surpluz はベルギーの 4 人組トラッド・バンド。メンバーは Elke De Meester {ヴォーカル、アコ}、Pieterjan Van Kerchhoven {バグパイプ、サクソ、ヴォーカル}、Jeroen Knapen {ギター、ヴォーカル}、Bart Knapen {クラリネット、ヴォーカル}。メンバー全員がヴォーカルも達者で、意気揚々としたシンギングとたっぷり躍動感のあるダンス音楽は、一気に気分を高揚させる。ダンス気分も最高。2012 作。Wild Boar Music)

*NOVAR: Emelald

B

(Aurelian Claranbaux {アコ}、Thierry Nouat {ハーモニカ・ギター}、Toon Van Mierlo {バグパイプ、サクソ、アコ}、Jeroen Geerinck {キーボード、マンドリン} の四人組が奏で上げる音楽の何と粋でかっこよくて心地よいこと！全曲 Toon Van Mierlo の作曲で、アコ、バグパイプ、ハー

ディガーディが織りなす音楽は、いわば Blowzabella 風だが、「皆が好きな音を奏でながら合わせたらこんな音楽になった」という印象の自然体の清々しくて気持ちの良い音楽。様々な涼風が感じられる音楽。2016 作。Appel)

- *AURELIA:La Creation Du Monde B
(夢幻的ヴォーカル・ミュージックの可能性を追い求める女性シンガーの Aurelia {Dorzee} の本作は、不思議な夢世界音楽。その夢世界は西アフリカ音楽的夢世界。Aurelia の空かけるフィドル演奏とギター名手、Tom Theuns の微細で多彩な乾いたギター演奏、そしてパーカッション奏者の Serigne Cm Gueye の多彩なリズム演奏が不思議な夢世界音楽を創る。感性優先の音楽だが、魂を揺すられるような根源的な何かが感じられる音楽でもある。2012 作。Home)
- *FARAN FLAD:Maiden Voyage B
(デビュー作。2010 作。Wild Boar Music)
- *NARAGONIA:Janneke Tarzan B
(Pascal と Toon の二人組時代の Naragonia の 2 枚目。アコ吹奏楽器の組合せでリズムカに編まれた音楽は詩情豊かでダンスブル。最愛聴盤。2007 作。Appel)
- *BALLADEUS:Snikheet B
(男性五人組トラット・グループ "Balladeus" の本作は伝統曲と主にヴォーカルの Rufijn De Decker の作詞作曲のバラッドを時代背景や音楽性に応じた様々なスタイルのフォーク・ミュージックで演唱したアルバム。楽器編成はハーディー・ガーディー、アコ、クラリネット、バグパイプ、ギター、チェロ、ホイッスル、コントラバス、タンバリンなど。2009 作。Wild Boar Music)
- *BRADYAGA:Promesses B
(Bradyaga は Naira Mnoian と Lola Waters の二人の個性的な女性ヴォーカルのフィーチャーした 6 人組。二人のソング・醸す雰囲気は独特。大人の女性の落ち着いたムードがシンクを含めて魅力的で全編独特なムードの中で展開する。音楽的にはジプシー&クリスマス的なものがベースで東欧っぽさやフレンチ・トラットっぽさも。一度この魔力に取りつかれると病み付き。2005 作。Home)
- *WOUTER VANDENABEELE:Chansons Sans Paroles B
(Ambroziijn のヴァイオリン奏者で作曲家 W. Vandenabeele の唄なしの唄。演奏のみでうたわれた物語。Soetkin Baptist の妖精スケッチはあるが...。陰影に富み湧き出す感情を押し殺したような泣きのヴァイオリンは叙情的かつ詩的。どこか北歐的でメロコリックな音楽。2007 作。Home)
- *AMBROZIJN:10 ¥1500
(フランク・ス屈指のトラット・バンドの結成 10 周年記念ライブ。Ambroziijn {Tom Theuns, Wouter Vandenabeele, Wim Claeys} がベルギーとフランスから招待したゲスト・シンガーは Gabriel Yacoub, Vera Coomans, Soetkin Collier, Sylvie Berger, Ludo Vandea。フロント・ルとその周辺の音楽を賛美するような音楽構成は祝祭ムードを放つ音楽として身を結んでいる。2007 作。Home)
- *LAIS:Dorothea D
(ご存知人気の女性ヴォーカル・トリオの 2001 年作。ヴォーナス曲 "Le Grant Vent" {アカペラ・ヴァージョン} 付。2001 作。Virgin)

*LAIS:Victime D
(ご存知人気の女性ヴォーカルトリオの2004年作。CCCD(コピー禁止CD)。
Virgin)

[DVD/HOLLAND] PAL Region 2

※PAL方式再生可能DVDプレーヤー/パソコンで再生可能

*YGDRASSIL:Live At The Folkwoods Festival 2006 ¥2980
(Linda Nijland&Annemariekeの女性シンガーの二人にギター、アコ他の
Bert Ridderbosの三人組による17曲ライブ。CD"Easy Sunrise"その
ままのブリティッシュ・フォーク的世界。"Cruel Sister", "The North Star
Grassman And The Ravens", "Motorcycle Mama" (Neil Young 作) 他。
2007作。Teal Harm)

*FLAIRCK&CORPUS:Circus Hieronymus Bosch ¥2980
(2002作。Alpha Centauri Entertainment)

[CD/HOLLAND]

*CHIMERA:Gestolen Lente B
(1981年と1982年にStoofからアルバムを発表して、当時ユーロ・ト
ラッド・ファンに驚きとともに愛好されたChimeraの新作。新生
Chimeraはリード・ヴォーカルのMarry Verkade (ヴォーカル、フルト)と
Bas Verkade (ギター、ブスーキー、ヴォーカル)の夫妻と息子のMarijn
Verkade (ベース、ブスーキー、ヴォーカル)のトリオ編成。Chimeraのアコース
ティック版というか、かつてのChimera独特な幽玄な空気感や美
意識を保持しつつ、穏やかなユーロ・トラッドに仕上がっていて、
ほんのりと心地よい。音楽の奥には彼ら独特な美意識がキラリ光
っている。2016作。Pan)

*YGDRASSIL:Easy Sunrise ¥1500
(女性二人のヴォーカルデュオをフィーチャーしギター、ブスーキー等のBert
Ridderbosが伴奏の三人組。全て英語で一言で言えばブリティッシュ・フォ
ーク・タイプなのだが、二人のヴォーカルとデュオから生まれる世界は本作
の最後を飾る曲Sandy Denny作の"The North Star Grassman And
The Ravens"的で、陰影の中にかすかな光りが感じられる独特な世
界。全14曲。2005作。Rounder Europe)

*TJANE:Mark C
(澄んだSilvieのシンキングに清々しいフォーク・ロック・サウンド。全曲トラッド [又
はトラッドの歌詞に曲を付けたもの] だが、歌詞の内容も純朴なもの
ばかりで気分はすっかり「春」の気分。健やかなフォーク・ロックだ。2005作。
Frea)

*GERARD VAN MAASAKKERS D
:Komt Er Mer In/Vur De Wind/Onderwege
(オランダのトラッド/フォーク・シンガーGerardの1枚目～3枚目が2枚組み四
つ折りジャケットにて復刻。この時代彼のアルバムは上品なヨーロッパ情緒漂
うアコースティックなサウンドと彼の愁いのある澄んだ唄に心洗われる。
宝物。78/80/82/2003作。Stoof/Munich)

[CD/GERMANY]

- *OUGENWEIDE:Ungezwungen A
(77年作。P24のブックレット付77/2007作。Bear Family)
- *OUGENWEIDE:Fryheit/Ousflug A
(78年作“Fryheit”と79年作“Ousflug”の“2on1”。P44のブックレット付。78/79/2007作。Bear Family)
- *OUGENWEIDE:Ja-Markt/Noch Aber Ist April A
(80年作“Ja-Markt”と81年作“Noch Aber Ist April”の“2on1”。P44のブックレット付。80/81/2007作。Bear Family)

[CD+DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

※PAL方式再生可能DVDプレーヤー/パソコンでのみ再生可能

- *DAN AR BRAZ:Frontieres De Sel ¥2980
(CDとDVDセットのブック型特殊豪華パッケージ。CDは2005年のライブ5曲に2001年作の“La Memoire Des Volets Blancs”から3曲そして2003年作の“A Toi Et Ceux”から2曲のDanのエレキギターが輝く彼らしい美しいフォーク・ロックが全10曲。155分。2006作。Pathe)

[DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

※PAL方式再生可能DVDプレーヤー/パソコンでのみ再生可能

- *ALAN STIVELL:Alan Stivell ¥2980
(豪華な内容。フィルムとコンサート2本立てで、“フィルム”はA. Stivellのブレイク音楽からアイルランドの旅と共演{Matt Molloy, Dubliners, Paddy Moloney, Liam O'Flynn, Brenda Mayock それにロック・バンドのSimple Minds等との共演}のドキュメンタリーで47分。“コンサート”は2000年の野外フェスティバルのライブ。こちらは50分。2000作。Arte Video)

[CD/FRANCE]

- *NOLWENN ARZEL:La Harpe De Bretagne - Strewiñ C
(両親がブルターニュの出身で、ご本人はパリ生まれのケルティック・ハーブ奏者のNolwenn嬢のソロ。彼女にとってブルターニュの伝統音楽は夢の音楽。彼女はブルターニュの伝統音楽の個性的な民俗性を保持しながら、独自の夢感覚の色を輝かせて、幽艶で優艶なハーブ・ミュージックを創作する。2014作。Coop Breizh)
- *BROTTO LOPEZ SEXTET:La Ronda Dels Viatges B
(Rosina de Peira e Martinaの時代から時を経て、若々しいオクシニアのトラッド・バンドの登場。ヴォーカルはGuillaume LopezとLolita Delmonteil-Ayralの男女の二人。唄はこの二人が掛け合うスタイル。双方とも南欧的なトラッドの香り立つシンギングだ。三曲目の“Quando io eri hilha a marider”はRosina de Peira e Martinaもうたっていたが、伝統性の内で、新たな命を吹き込んでいる。世界クラス。2014作。Camom)
- *ALAN STIVELL:Au-Dela Des Mots B
(英題“Beyond Words”。w. Ronan Le Bars {イリアン・バリス}, David Hopkins {ハークション}。2002作。KeltiaIII)
- *ALAN STIVELL:Emerald B
(2009作。KeltiaIII)

- *HIKS:Operation Malicorne B
 (Hiksはブルターニュの五人組ロック・バンド。しかし実態はGabriel Yacoub with Hiks。この組み合わせはもの凄い。トラッド・シンガーのGabrielの魂とロック・バンドのHiksの魂との魂と魂のぶつかり合いから生まれる音楽の底知れぬパワーは、本当にもの凄い。2014作。Aztec Musique)
- *CECILE CORBEL:La Fiancée D
 (Cecile Corbelの「花嫁」と題された五枚目。2014年の秋にフランスのPolydorからのリリース。弦楽四重奏を伴った本作はKeltia Musiqueの“Songbook”路線とは一線を画す、例えば、カダのリーナ・マッケニット路線の「ケルト」を増幅させたファンタジック・ミュージック。Cecileは元々そうした要素を多分に持っていたが、ここに来て、「伝統的ケルト」のしがらみを取り去って、Cecileが夢描く「ファンタジック・ワールド」を存分に音楽化したという印象。音楽の内容は「情熱的な愛の物語」らしい。2014作。Polydor)
- *CECILE CORBEL:Songbook Vol. 2 A
 (デビュー作で創作したオリジナルなブルターニュ発ケルト音楽は本作において、ひとつの絢爛な完成を見せている。音楽はきらびやかな光沢を放ち、セシルの小悪魔的ヴォーカルはさらに魅力的で、セシルのハーブは様々な表情で躍動しながら光を放ち流れる。シンガーとして、ハーブ奏者として、世界レベルのケルト風味音楽を実らせている。Loreena McKennitt ファン必殺。2008作。Keltia Musique)
- *SOLDAT LOUIS:Kingdom Tavern B
 (ブルターニュのケルティック・ロック、Soldat Louis {ヴォーカル、エレキ&アコースティック・ギター、バンドゥーヨ}の本作は、まるでブルターニュ流米国西海岸ロック。ケルト圏のロック・バンドの中でも、Soldat Louisと彼のバンドは若々しさとガッツで群を抜いている。ヤッホーの一枚。2013作。Goop Breizh)
- *DOMINIG BOUCHAUD:Vibrations Harpe Celtique B
 (ブルターニュのハーブの第一人者のブルターニュのトラッドを中心にしたケルティック・ハーブ集。全17トラック。Keltia Musique)
- *DOMINIG BOUCHAUD:L'anore d'argent B
 (ブルターニュのハーブの名手が全霊を傾けた珠玉のブレトニック・ハーブ音楽。古来から伝わるブルターニュのハーブ音楽の優美さや気高さがじわりじわりと身に沁みてくる。セイント・ハーブ担当でシンガーのAnn Auffretの3曲のシンギングの見事さは言葉で言い表せぬほど。英語詳細曲目解説付。全ハーブ愛好家必聴。全20曲。2002作。Keltia Musique)
- *ANNE DE BRETAGNE C
 (ハット・カバー装丁の2枚組。副題“Le Rock Opera d'Alan Simon”。全曲Alan Simon作詩作曲の中世ブルターニュの歴史絵巻物語。参加ミュージシャンが豪華。Cecile Corbel, Fairport Convention, Chris Leslie, Tri Yann, Didier Squiban, Pat O' May 等等。全30曲。色鮮やかに描かれたP48の歴史絵巻ブックレット付。2009作。Babaika)
- *EVELYNE BELINE GERARDON:La Fontaine Trouble C
 (元La BambocheのEvelyneのソロ。本作はむしろ同時代を生きてきたMalicorneの核の音楽を志向する真摯なフレンチ・トラッド・アルバム。Evelyneのシンギングは伝統歌本来のシンギング・スタイルに身を預けたスタイ

- ルで古風で優雅。w. Jean Blanchard{元 La Bamboche}, Soig Siberil
, Gilles Chabenat, Jeremie Mignotte, etc. 全 18 曲。2011 作。
Compagnie Beline)
- *MUSIQUES DE BRETAGNE B
(副題“New Recording Of The Great Airs Of Brittany”。Cecil
Corbel, Red Cardell, Gwalarn, Louis Capart, Gilles Servat, Anne
Auffret, Pat O' May 等ブルターニュのトラッド・ミュージシャン達の音源から全 17
トラック。2011 作。Keltia Musique)
- *MALICORNE: Concert Exceptionnel Aux
Francofolies De La Rochelle B
(Gabriel&Marie Yacoub, Hughes De Courson, Laurent Vercambre,
Oliver Kowalski のラインナップの Malicorne の 2010 年のライブ盤。Gabriel
&Marie Yacoub がヴォーカルに入ると気高く優美な Malicorneサウンドに
変幻。圧巻！2010 作。Sony Music)
- *GABRIEL YACOUB: Bel (1990 年作。Boucherie) B
- *GABRIEL YACOUB: De La Nature Des Choses B
(美意識に裏打ちされたある種妖氣的詩的世界。2008 作。Roseau)
- *LA BAMBOCHE: La Saison Des Amours (1978 作。Spalax Music) C
- *SOLDAT LOUIS: Happy... Bordee 20 Ans C
(結成 20 周年記念ライブを収録した二枚組盤。ヴォーカル&ギターの Soldat
Louis 名義のアルバムだが、実質的に 7 人編成ケルティック・ロック・バンドとして、
いわばブルターニュの Runrig のような存在で、ブルターニュ版 Runrig 的音楽
を勇猛果敢に創作する。孤高のケルティック・ロック。2009 作。Coop Breizh)
- *LOUISE EBREL: Ma Zad Ma Mamm B
(「何だばあさんか」と馬鹿には出来ぬ。Louise ばあさんのうたうブル
ターニュの伝統歌の数々は血統書付のブルターニュ・トラッド。その濃度はか
なり濃い。そんなブルターニュ色濃い伝統歌を毅然とシンキングし、軽妙に
リリキングしたりもする。ブレトン・トラッド・シンキングの真髄。2010 作。
Keltia Musique)
- *FLORENCE PAVIE, YANN-FANCH KEMENER, ALDO RIPOCHE
: Dialogues B
(ブレトン・トラッド・シンガーの最高峰の Yann がチェロ奏者 Aldo とピアノ奏者の
Florence による厳かな空気の音楽の中でブレトン・トラッド・シンキングを
極めた Yann の円熟したシンキングが素晴らしい実質的に Yann のソロア
ルバム。極上のブレトン・トラッド・シンキング・アルバム。2006 年録音。Buda
Musique)
- *MICHEL TONNERRE: Quinze Marins B
(海の男の荒くれフォーク・ロック。酒でつぶれた？トースの利いたヴォーカルと共
に海辺の安酒場へ。海の男達の自慢話とロマの世界。バックが充実し
てるのにバック・ミュージシャンに関する何のクレジットもなし。2007 作。
Keltia Musique)
- *MARIE DE MALICORNE C
(Malicorne のヴォーカルで Gabriel の奥方 Marie のベスト盤。収録曲は 1975
年～2005 年。ボーナス曲 1 曲を含む 15 曲。Malicorne での Marie の存在
の大きさがわかる。2005 作。Roseau)
- *JEAN-MICHEL VEILLON-YVON RIOU

- : Pont Gwenn Ha Pont Stang (95 作。Gwerz) B
- *JOAN FRANCES TISNER: 12 Receptas De J. A. Lespatlut B
 (オクシアのガエラン・トラッド・シンガ - 兼フォーク研究家の 2 枚目。オクシアのトラッド・シンガ & アカペラの特異さ = 魅力を奔放な音作りで浮き彫りにする。音作りは斬新ながら、ちゃんとオクシア特有のエスニックな「音」が散りばめられている。P28 のブックレット付。2004 作。Menestres Gascons)
- *ALAN STIVELL: Telenn Geltiel ~ Harpe Celtique C
 (64 作。Dreyfus)
- *ALAN STIVELL: Trema'n Inis (76 作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL: Terre Des Vivants (81 作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL: Harpes Du Nouvel Age (87 作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL: Journee A La Maison (89 作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL: Brian Boru (95 作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL: 1 Douar (98 作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL: Back To Breizh (99 作。Dreyfus) C
- *ROSINA DE PEIRA: Sul viù - Gospel d'Oc a
 (オクシアのトラッド・シンガ - の Rosina の 2003 年作。教会でのライブで全くの無伴奏。オク語による Rosina 独特な節回しは豪快で繊細で優雅で神聖。2003 作。Rosina de Peira)
- *MARC ROBINE: Dulcimer a
 (フランスのマウンテン・ダールマー奏者でシンガ - の編集 CD。全 18 曲。録音は 1977 ~ 99 年。Buda)
- *BARRIO CHINO: Mediterra Nostra B
 (マルセイユの地中海バンド。アラブ = 地中海音楽からキューバ音楽まで、それぞれの民俗音楽的要素をより濃厚に強調したエキゾチックなバンド。2001 作。Tinder)
- *GARGOUILLES: Sur Le Bord Du Cote B
 (ブルターニュの男性 4 人組。Gabriel Yacoub スタイルの Christian Gattepaille のヴォーカルをフィーチャーしたアカペラからロックそしてクリスマス〜ジャズ風まで。ゲスト: Gabriel Yacoub。2000 作。Coop Breizh)

[CD/SWITZERLAND]

- *SWITZERLAND - Archive Of Folk Music C
 (副題 "Collection Constantin Brailoiu {1927-1951}。スイスのサントゥールというかハルマー・ダールマーの姉妹楽器のハックブレットの奏者 Constantin Brailoiu の名演奏集。全 65 曲収録。英語解説書付。DVD ケース仕様。2009 作。Disques VDE-GALLO)

[CD/BASQUE]

- *OSKORRI: Landalan (Elkar) D
- *OSKORRI: Hi Ere Dantzari (Elkar) D
- *BENITO LERTXUNDI: Benito Lertxundi ¥2800
 (一枚目。Elkar 盤。KD-47/48)
- *BENITO LERTXUNDI & EUSKADIKO ORKESTRA SINFONIKOA: D
 To Beni (1998 作。Elkar lanean)
- *GANBARA: Buhamien Balleta (Elkar)

- *ERRAMUN MARTIKORENA: Olerkarien Oihartzun D
 (バスクのSSWのErramun Martikorenaの1993年作。Erramunはバスクの伝統歌のスタイルを受け継ぐSSWでフォーク・シンガーで、男性だが、高音の声で、悲喜こもごも感の感じられる唄を爽やかに、時に愁いも感じさせつつ優しく吟ずる。当時のバスク屈指のフォーク/トラッドの演奏家がバックアップ。1993作。Elkar)

[CD/PORTUGAL]

- *CRISTINA BRANCO: Post-Scriptum/Mumurios ¥2800
 (独特な感性を持つファドの歌姫Cristina Brancoの“Mumurios” [1998年]と“Post-Scriptum” [2000年]の二枚組。発売当時、二枚ともにタムボリンのベストセラー。2002作)
- *SEIVA: SEIVA C
 (ファドが陰だとすると、Seivaの音楽は陽。Joana Negrao [ガタ、パーカッション]、Vasco Ribeiro Casais [ギター、カキキニョ、ガタ、パーカッション]、Rita Novoa [パーカッション]による音楽は、独特な大地の音を響かせ、Seivaのヴォーカルは民俗色を強めてパワフル。驚きのシンガーだ。2015作。Galileo)
- *JULIO PEREIRA: Midadouro D
 (お宝発掘。1987年録音のカラフルなポルトガルの民俗音楽。1989作。Caramba Music)

[CD/SPAIN & BRETAGNE]

- *PACO DIEZ & AN TRISKELL: Castillos En El Mar C
 (スペインのフォーク・シンガーのP. Diezとブルターニュのウァイラン・ハーブ・デュオのAn Triskellのコラボレーション。2006作。Several)

[CD/SPAIN]

- *MIGUEL PUJADO: Canta Georges Brassens B
 (マドリードのフォーク・シンガーのMiguel Pujadoの1992年のアルバム。本作はフランスを代表する反体制的シャンソン歌手ジョルジュ・ブラッサンスの唄17曲をギターの弾き語りを中心にうたったアルバム。ブラッサンスはギターの弾き語りであらうことにこだわったという。軽快な曲調のギターの伴奏と巻き舌の語り口調の唄がフォーク・ソングとしてのシャンソンの味わいをにじませている。1992作。Saga)
- *JOAQUIN DIAZ: Alta Alta Es La Luna C
 (1991年作のセファルディー {スファルディ} 集。Saga)
- *FOLK ON CREST: Calle De La Botica C
 (Folk On Crestはケルト音楽世界の隆盛に刺激を受け、結成されたスペインはサラマンカの若いトラッド・バンド。ガリシアのムイェーラなどもやったり、バグパイプやホイッスルやギターがケルティック流のサウンドを高らかに響き渡り、紅一点のYolanda Rioがパーカッションを打ち鳴らし、コソのある抜群のシンギングで釘付けにする。サラマンカのフォーク・シーンに一石を投じる刺激的アルバム。2011作。Severalia)
- *CABIELLA: Cabiella Of Sons C

(Cabiella はカスティーリャ・イ・レオン州のブルゴス県の 4 人組トラット・グループ。楽器編成は、フルト、アコ、パンデレイタ、ガイタ、ギター、パーカッション。この楽器編成に女性ヴォーカル[Eugenia Lopez]の唄。僕の耳にはケルティックな匂いを強く感じる。ガリシアのバンドと言われても、違和感を覚えない。彼らの、いわばスペイン風味のケルティック・ミュージックは、実にかっこいい。シガラの Eugenia のシンギングも風薫るシンギングで清々しい。各種楽器のアコースティックな清々しさが何とも快感。ディスクもトレイも落ち葉だらけ。2013 作。Folka)

*MENAYA FOLK: Eclipse C

(Menaya Folk は 6 人組フォーク・ロック・バンド。中世・ルネサンス音楽からケルト音楽そしてテン音楽までのレンジでおおらかに、華麗にロックする。彼らのアプローチは 70 年代~80 年代の頃の、ヨーロッパのロック・バンドがトラッド的なものを取り込んで、ヨーロッパ風エレガントなロックを創作していた頃のフォーク・ロックを思い起こさせる。文字通り、「フォーク・ロック」という音楽の方向性が明確な分、音楽が明快でストレートに楽しめる。みんな元気良いなあ。2013 作。Several)

*PACO DIEZ & JAIME VIDAL: Romanceando C

(スペインの叙事詩/バラッドのロマンセ集。ライヴ。ヴォーカルの Paco Diez は、中世の吟遊詩人と化し、ハーディー・ガーディー、レバック、ギター、マントリン、タンバリン、パーカッション[弦楽器の中世スペイン風味もいいが、タンバリンやパーカッション等の打楽器の中世スペイン風味もいい]を奏し、うたい、Jamie Vidal がピアノで伴奏を付ける。ホピュラーなロマンセも多いようで、口ずさむ観客も。2011 作。Severalia)

*TAHONA: Relamidos C

(1972 年結成で本作が 11 枚目というレオン・カスティーリャの男性トリオ“Tahona”の本作のテーマは「料理への賛辞」。アコ、ヴァイオリン、ギター、リュート、各種パーカッションが南欧ムードを高める中、三人が様々なシンギング・スタイルで伝統歌を、ある時はユーモアたっぷりに、またある時は祝宴ムードたっぷりに料理して楽しませる。2009 作。Several)

*RUAILLE BUAILLE: Ru:le Bu:le C

(スペインの 5 人組ケルティック・バンド。アイルッシュとスコティッシュを中心に現地のヴァイオリン・ミュージシャン顔負けのセッションを繰り広げ、名前から推察してスコットランド人とおぼしき Duncan Bennett [唯一の現地人]が唄心ある味わい深いシンギングを披露する。タイタニックで有名になった“John [Sean] Ryan's Polkas”ほか全 9 トラック。編成はホイッスル、ガイタ、リアン・パイプス、ブズーキ、ギター、マントリン、フィドル、バウロン他。2008 作。Several)

*TRIQUEL: Sin Hacer Na C

(6 人組ケルティック・トラット・ロック・バンド“Triquel”の豪快なケルティック・ロック。エレキギター、ベース、ドラムスがタイトなロックをたたき出し、フルト、フィドル、ホイッスルがケルトの風を巻き起こす。そして Juan Jose Carton のヴォーカルがまた圧巻。いわばスペインの Runrig。手に汗握らぬものはなし。2008 作。Armando)

*NOUR: Papier Mullat C

(ハルセナのアラブ・ムード濃厚な過激な 6 人組。アラブ歌謡とヒップ・ホップと北アフリカ音楽が合体し過激にロックしたようなワールド・ミュージック。Cheb Balowski のムバ・デリーダ格のパーカッション&フロンタリングの Yacine

Belahcene のヴォーカルといい、海でアラブ世界に繋がる東スペインならではの異国情緒な先鋭的ロックと叫ぶテンションが高い。ブックレットにもアラブ文字。2007 作。Kasba)

- *XAVIER BARO: Flors De Joglaria ¥1000
(スペインのフォーク・シンガー。カタルーニャのフォーク・シンガーの X. Baro の本作は 70 年代ブリティッシュ・フォーク・スタイルのフォーク/フォーク・ロック。Xavier は夢の旅人のイメージでのトルバドール的でエレキ&アコースティック・ギター、ベース、オルガン、ピアノによる甘味ある優美なフォーク/フォーク・ロック。教会風オルガンや甘みあるギター等が 70 年代風ブリティッシュ・フォークの夢見心地さを引き立たせ、Xavier の唄は仮想の夢のサントの中でゆったり舞う。スペインのシンガーによる耽美的ブリティッシュ・フォーク。2006 作。Quadrant)
- *PACO DIEZ: Romances De Caballeros Y Doncellas C
(スペインの叙事詩/バラッドのロマンス集。音楽の底に流れるのはアラブが香る中世スペイン音楽。Paco は巨匠 Joaquin Diaz 風柔和で気高く滑らかなヴォーカルの内に汎アラブ=地中海音楽絵巻的サントを巧みに取り込み、エキゾチックな香り高いロマンス音楽をナチュラルに創作している。2007 作。Several)
- *DIVERTIMENTO: Folk C
(カンタブリアの電気ック・トラット・バンドだが、ガイトとダブルリードの笛そして各種パーカッション等の民俗楽器から作り出される民俗的サントはケルト系からアラブ系まで汎スペイン伝統音楽的幅の音楽性を保持。民俗楽器奏者とロック・バンドがセッションするようなタイプの電気ック・トラット。2006 作。Folka)
- *MAR DEL NORTE: Piramide C
(不思議な音楽。「ケルト」が大きな要素ではあるが、様々な不思議な音楽がモザイク模様で編み上げられた極楽音楽。フルートとティンホイッスルがフィーチャーされた曲が中心で、典雅なのから豪快なのまで様々かつ色とりどり。2006 作。Several)
- *EDUARDO PANIAGUA: Tres Culturas C
(副題“Three Cultures—Jews, Christian and Muslims in Medieval Spain”。98 作。Pneuma)
- *QUARTETO MEDIEVAL DE URUENA
: La Lirica Sagrada En Los Trovadores ¥4880
(どっしり重い CD 3 枚。Luis Delgado, Cesar Carazo, Jaime Munoz, David Mayoral が挑む中世トルバドール音楽。2001 作。tf media)
- *CASTILLA D
(カスティーリャの音楽。24 曲入 2 枚組。96 作。Fonomusic)
- *BRENGA ASTUR: Cancios Del Gochu Xabaz B
(ケルト圏アストゥリアスからどでかいケルティック・ロック・バンド。ダイナミックなフォーク・ロック圧倒し、エキゾチック&エレガントな女性ヴォーカルで骨抜きにする。99 作。Fonofolk)

[CD/ASTURIES]

- *DUERNA: A Mansalva B
(“Prau Escenariu”という国際フォーク・ミュージック・コンペティションで優勝のアストゥリアスの 6 人組ケルティック・トラット・バンドだ。彼らが目指す音楽はオリジ

かなな音楽。Estefania の女だてらの、大地揺るがすパワフルなシンギングとガイトをフィーチャーした上昇気流を巻き起こすサウンドは、実に頼もしい。2011 作。Folka)

- *CELESTINA "CA SANCHU": Amba (Grau) B
(Celestina 婆さんによるアストウリアスの伝承歌集。加または男性とのデュエットでうたわれる伝承歌の数々はぼくの耳には Joaquin Diaz がうたう他のスペインの伝承歌から伝わってくる気品ある味わいと同種のものを感じられ、音感的にはアストウリアスという地域性を超えて、スペインの伝承歌として実に味わい深い。スペインの伝承歌ならではの品格ある味わいがたまらない魅力。全 32トラック。2007 作。Fono Astur)
- *ASTURIAS A
(アストウリアスの音楽。24 曲入 2 枚組。96 作。Fonomusic)

[CD/GALICIA]

- *IALMA: Camiño: De Bruxelas A Santiago B
(Ialma は Veronica Codesal, Magali Menendez, Natalia Codesal, Marisol Palomo の女性四人組ポリフォニー・コーラス・グループ。彼女達はガリシアの伝承歌の伝統を四人のコーラスで表現するが、そのソロ・シンギングとコーラスはガリシアのトラッドの香り高く極上な上に、ベルギーのトラッド系ミュージシャンを中心にした精鋭なトラッド〜ワールド・ミュージック・サウンドは、音楽的レベルも高く、充実しきっている。スコットランドから Ross Ainslie [ホィスル] がゲスト参加。2016 作。Home)
- *CHOUTEIRA: Folla De Lata C
(お宝発掘。ガリシアの歌姫 Uxia をヴォーカルに据えた異色のガリシアン・トラッド・バンドの Chouteira の 2000 年の三枚目。面白いのは、ギターやパンデレイタやアコなどの馴染みの楽器に加えて、サクソやチューバやトランペットなどの管楽器が加わっていて、イングランドなら Brass Monkey のような音作りを加えていること。このサウンドは、ケルティックなガリシアン・トラッドに耳慣れたファンには目新しく響くが、ある意味むしろ南欧〜地中海の民俗音楽的な響きでもあって、むしろ土俗性を増しているようにも感じられる。Uxia の孤高のシンギングはここでも素晴らしい。2000 作。Boa)
- *NA LUA: As Fases De Na Lua C
(ガリシアを代表する歌姫 Uxia を擁したガリシアを代表するトラッド&フォーク・ロック・バンド "Na Rua" の 20 周年記念アルバム。既発表音源からの全 18 曲。ガリシア独特なケルティック・サウンドは、今聴いても鮮烈。2001 作。Boa))
- *UXIA: Estou Vivindo No Ceo (1995 作。Nubenegra) C
- *MILLADOIRO: Galicia No Tempo (90 作。Discmedi Blau) B
- *MILLADOIRO: 3 (92 作。CBS) B
- *MILLADOIRO: Solfafrica (ゲスト: Paddy Moloney。92 作。CBS) B
- *MILLADOIRO: Unha Estrela Por Guia (2006 作。Discmedi Blau) B
- *MILLADOIRO: Auga De Maio ¥1000
(購入者からの連絡で開封したところ、ブックレットを留めるホチキスがさ

- びていました。格安にて。99作。Discmedi Blau)
- *EMILIO CAO: Cantas Marinas (1998作。Do Fol) D
- *BERROGUETTO: Kosmogonias ¥2880
 (三つ折特性ジャケットのCD+DVDセット。ガイト奏者でもあるXabier Diazをヴォーカルに迎えたガリシアの大型トラッド・バンドのBerroguettoの4枚目にあたる本作は横綱級ガリシア・トラッド。全てのサウンドが卓越していて、美しく響き合い、他のバンドの追随を許さぬガリシア・ミュージックの王者の音楽。DVDはPAL方式で、メンバーのインタビューやバンドのライブにイメージ・フィルム等。2010作。Discmedi)
- *BERROGUETTO: Viaxe Por Urticaria A
 (ガリシアの最先端トラッド・バンドのBerroguettoの99年作。BOA)
- *BERROGUETTO: Hepta A
 (威風堂々としたオリジナルなガリシア音楽。ゲスト: Kalman Balogh {ハンガリー}, Markus Svesson {スウェーデン}, Jiva Gasparian {アルメニア}。特性三つ折りジャケットCD。2001作。Do Fol)
- *PANCHO AVAREZ: Sólidos Galicianos B
 (「一言で言えば従前の才気走った音楽作りを程よく抑えて、より自然体でよりインティメートな感覚でさらりと演じたのが本作と言えるだろう。パンチョの音楽は枯れた味わいでは決してないけれど、この変化は良い意味での成熟を感じさせる。加えて、独特の淡さを持った美しさが全編に貫かれているのが何とも素晴らしい」本作はアルバム・タイトルからも彼のガリシア文化への一貫した敬愛の情が伺えるが、シャカリキになって一つのテーマを訴えるというのではなく、一種の余裕を感じさせる包容力のある音楽となっているのだ」。白石和良さんの乱聴記より。2009作。Pai)
- *MALVELA: Da Mina Xanela A Tua B
 (Na Luaのヴォーカルでガリシアを代表するトラッド・シンガーのUxiaの共同プロデュースで、シンガーの一人として参加のガリシアとポルトガルの民衆音楽を姉妹音楽として捉え、ガリシア風であり、かつポルトガル風なのか、南欧的で牧歌的な民謡などUxiaを含めた民謡おばさん達の底力ある快活なヴォーカルと軽やかな音楽が楽しい。ガヴァキニョのココロしたサウンドがくすぐったい。2007作。Pai)
- *DIPLOMATICO: Komunikando C
 (ゲスト: Uxia, Susana Seivane Isaac Palacin [Berroguetto]。2003作。Boa)
- *FALTRIQUEIRA: Effecto B
 (ガリシアの女性4人{前作から一人減った}のヴォーカル・グループの4年振りの本作はバスクでの録音でPascal Gaigneがプロデュース。バンド・レータ【片面太鼓】を叩き、澆刺と唄う彼女等の唄と音楽は若々しくカワル。ガリシアの楽士達の音楽は汎地中海音楽的エキゾティシズムを注ぎ込み、陽光降り注ぐエキゾチック・サウンド。2006作。Resistencia)
- *ABRAXAS: Ruina Montium C
 (1999年結成のガリシアン・ケルト系バンド。ガリシアのバンドか定かではないが、Hevia, Cristina Pato, Leilia等のガリシアのハーパーやグループとの共演経験を持つ彼らの音楽はリーダ格でガイト&フルト奏者を中心にギター、バングォー、ヴァイオリン、サンフォニー、アコーディオン、クラリネット、フズーキ、サクス、

ペース、各種パーカッション等によるガリシア音楽プラスαの音楽。2005 作。
Legados)

- *AVALON: Lua Meiga B
(ガリシアから登場の若き女性 6 人のケルティック・バンドのデビュー作。2000 年
録音。Blau)
- *HEVIA: Tierra De Nadie/No Man's Land ¥1500
(ガリシアではなくアストゥーリアスのバグパイプと思われるが、彼の電気バグ
パイプとアストゥーリアン・バグパイプはスピリチュアルな粋まで到達している。音
楽は自身のルーツを基盤にしたもので、ロックっぽい斬新な音作りや土
俗的匂いを醗酵さす女性がヴォーカルの挿入等も極めて独自色を発散し
ている。素晴らしきパイプだ。2000 作。EMI-Odeon)
- *LEIXAPREN: Gaitropos C
(伝統的なトラッドを肥やしに中世音楽まで視野に入れた典雅で清々
しい音楽。カリテ、フルト、ガイヤ等の笛楽器の風の流りにアコギター、パー
カッション等が軽やかに絡まる。風のように軽やかでいて、ちゃんとガ
リシアン・トラッドの土着の音楽の躍動感や土臭さをもキープ。ゲスト:
Panch Alvarez. 92 作。Sonifolk)
- *GALICIA A
(トラッドからポピュラー音楽、宗教歌まで全 21 曲。89 作。Fonomusic)
- *FUXAN OS VENTOS: Sempre E Mais Despois B
(ヴェラン・トラッド・バンドの 7 枚目。ガリシアの根っこの愛すべき民衆音
楽。必聴！ 99 作。Fonofolk)
- *CHOUTEIRA: Folla De Lata C
(ガリシア屈指のヴェラン・トラッド・シンガー、Uxia を擁する Chouteira の 3rd。
3 本のブラスを導入した斬新な音作りによる柔軟で力強いガリシア
ン・トラッド・アルバム。金属の衫のワカ付。2000 作。Do Fol)
: Iacobus Magnus (94 作。Discmedi Blau) A

[CD/ITALY]

- *ROSAPAEDA: In Forma Di Rosa B
(お宝発掘。南イタリアの歌姫 Rosapaeda の 2001 年のアルバム。久し
ぶりに聴いて、彼女のアラブ＝地中海風味香るヴォーカルと敏腕
演奏家達による汎南イタリア～汎地中海音楽的にスケールの大
きな民俗色豊かな音楽に惚れ惚れ。2001 作。Sottosuono)
- *MASSIMO FERRANTE: Popolaj Kantoj C
(アルバム・タイトルは英題“Popular Song”。イタリア南部の音楽
の復興を目指す Massimo Ferrante の新譜はまるで「素晴らしき南
イタリアの音楽」。目線は常にイタリア南部の民衆音楽だが、本作
はアコースティックな作りで、目線が民衆の目線により近く感じ
られる。まるで日当たりのよい場所で彼と仲間達が目の前で笑顔
で、感嘆の声を上げながら演唱しているかのように音楽が活き活
きとしていて、喜びと悲しみの唄と音楽がピンピン響いてくる。
本作では Massimo の古くからの音楽仲間、ナポリ古謡の大家の
Daniele Sepe が各種笛の伴奏で協力。2015 作。Felmay)
- *DARIO MUCI: Mandarari B
(イタリア半島南東部サレント半島の民謡の研究家でシンガーの

Dario Muci の素晴らしいサレントの民謡の世界。フォーク・シンガーとしての器の大きさは、スペインの Joaquin Diaz クラス。民俗音楽としてもワールド・ミュージックとしても、極めて質が高い。2007 作。Anima Mundi)

*RADICANTE:Lettere Migranti C
(Radicante は 1996 年にパリで結成されたイタリアのフォーク・ロックバンド。メンバーは Giuseppe De Trizio {ギター、マンドリン}, Enzo Granella {ヴォーカル、ギター、チャランゴ}, Fabrizio Piepoli {ヴォーカル、ギター他}, Vittorio Gallo {サックス}, Pierpaolo Martino {ベース、コントラバス}, Daniele Abbinante {ドラムス}。地中海音楽的範囲で、民衆音楽をベースに独自の豊かな民俗音楽を創作する。2002 作。CNI)

*PICCOLA ORCHESTRA ZACLEN
:La Musica Di Carlo Brighi 'Zaclen' B
(1853 年、ロマーニャ生まれの音楽家で作曲家のカロ・ブリーギ {ニックネーム "Zaclen"} のダンス音楽はロマーニャのクラブやダンスホールで大人気だったという。本作は彼の楽団が演奏したダンス音楽 [楽譜が公共図書館に保存されていて、ワルツ465 曲、ポルカ141 曲他] を 5 人の楽師が当時の音楽を忠実に再現したもの。英語解説付。全 20 曲。Tesa Dancer)

*ALESSANDRO TOMBESI:Barene B
(1994 年生まれの若きハープ奏者でシンガーのデビュー作。ケルトのハープとは違う、イタリアはヴェネツィアの伝統音楽の土壌の上に咲いた優雅で穏やかなハープ・ミュージック。音楽的に完成度が高く、味わいが深い。2011 作。Calicanto)

*YO YO MUNDI:Munfra B
(本作は北イタリアのピエモンテにあるモンフェラートという町の歴史、文化を音楽で表現したもので、北イタリアの民族音楽として、音楽の水準が高く、また多彩な音楽は魅力的で、かつまた全曲を通して、音楽賛歌或いは祝祭的ムードが音楽を華やかにしている。この地域のミックス文化を象徴する音楽の多彩さが実に楽しい。ゲスト:Steve Wickham {Waterboys}, Sergio Berardo {Lou Dalfin}, Filippo Gambetta, Fabio Rinaudo&Daniele Caronna {Birking Tree} 他。2011 作。Felmay)

*A FIL DE CIEL:Vertigo B
(2004 年に結成された北イタリアのトラット・グループによるオクシタニア地域の中世から近世の伝統歌を中心にした南欧トラット風で典雅で刺激的な南欧のトラット・アルバム。何よりも魅力的なのはハーディー・ガーディー奏者でリード・ヴォーカルの Rosella Pellerino の南欧の女性シンガー特有のエキゾチックで豊かなシンギング。今日の勢いある南欧のトラットだ。2010 作。FolkClub EthnoSuoni)

*BANDABRISCA:Io Ballo Brisco B
(1995 年結成の北イタリアの 7 人編成トラット・バンドのデビュー作でライブ盤。楽器編成はギター、アコ、ヴァイオリン、フルート、サックス、ベース、マンドリン、ピッコロ。彼らは本来ダンス・バンドなのだが、彼らは余興のつもりなのだろうが、実は男性トリオでのアカペラ・シンギングも素晴らしい。ピッコロやアコがリズムを取るダンス音楽は独特 {このサウンドこそ北イタリアの優雅なダンス・サウンド} で、John Kirkpatrick の "Jump At The Sun" なんかも中世の街

角で聞こえてきそうな楽しげなダンス音楽の趣。2010 作。FolkClub EthnoSuoni)

- *7 KM DA GERUSALEMME C
(Pivio E Aldo De Scalzi によるサントラ。古代神話を夢想したような音楽。アラブ的でケルト的で古代ギリシャ的かつ前衛的で現代的な万華鏡音楽。Anuna のような女性合唱があったり、男女の不思議な吟唱があったり、ケルティック・ロック風なのがあったり、神秘性を軸に音楽のスケールがでかい。画面を観て一層醍醐味ある音楽だろう。2007 作。CNI)
- *SOFFI d' ANCIA "Decennale Del Festival "Pifferi", Muse E Zampogne C
(10 年の歴史のフェスティバルからハグ・ハップ、各種ダブルリッド楽器の演奏を集めた編集盤。Calicanto, Birking Three, etc. 全 21トラック。2005 作。Radio Music)
- *NIDI d' ARAC:Nidi d' Arac C
- *ANGELO BRANDUARDI:Caminando Caminando (96 作。EU EMI) ¥1680
- *ALPHABASS:T Ar Ant A Tr A Nce B
(何とも不思議な音楽。南イタリアの音楽をサブリンク多用し大改造したもののようなのだが、音楽だけ聴けば、アラブ音楽かと思うほど、男性ヴォーカルはアラブ色濃いし、打ち込みのリズムも流れるメロディーもアラブ色を帯びている。2003 作。Sottosuono)
- *N. C. C. P. :Teatrante ¥1780
(NCCP のベスト盤? 11 曲入。2001 作。Warner Europe)
- ※ナポリの古謡と NCCP ¥700
(その昔当店で発行した書籍です。by ニタ村発生。1988 年発行。田園鈴)
- *ARTURO STALTERI:Rings-Il Decimo Anello B
(ピアニスト兼作曲家が「指輪物語」にインスパイアされて作曲した全曲「指輪物語」がらみのケルト風味ファンタジー音楽。イタリアでベストセラー。2003 作。Materiali Sonori)
- *BALLATE ARCADICHE:Canzonie E Brani Strumentali Di Tradizione Celtica ¥1000
(ケルト音楽に挑む男性トリオ。アイリッシュ・トラッドの著名曲ばかりをヴォーカル、ブラス、キー、クラシックギター、フルート等で気品高く、ロマンティックに唄い、演奏する。イタリア産夢想ケルト音楽。全 18 曲。Arx Collana)
- *UARAGNIAUN:Uaili (2 枚目。96 作。Officina&Piazza) B
- *VINCENZO ZITELLO TRIO:Concerto B
(ケルティック・ハープ奏者 V. Zitello 率いるトリオによるライブ。ハープの持つ優美さ、宇宙的深遠さを追求した彼等独特な音楽。2001 作。Dunya)
- *SPACCANAPOLI:Spaccanapoli A
(Spaccanapoli はあの白熱の大衆音楽集団 E Zezi で育ったナポリの 5 人組大衆音楽グループ。彼等の出発点は自分達固有の文化の復興。E Zezi の血を受け継ぐ Monica Pinto の腹の底からの魂の唄と大地揺るがすダイミクナトラッド・サントラは正に圧巻。2000 作。Real World)

[CD/MEDITERRANEAN]

- *MARIA DEL MA BONET-AL TALL ¥2790

: Cancons De la Nstra Mediterrania (1992 作。BMG)

- *PAVLO: Fantasia C
(地中海ギタリストの Pavlo によるマジカな汎地中海メロディー集。アラブ～ラテン～汎地中海風味の全 13 曲。1999/2004 作。Justin Time)

[CD/SARDINIA]

- *CADABA: Do Y Sidemol B
(女性 3 名男性 6 名の 9 人編成トラッド・グループ。ガタ{バグパイプ} 3 名の機動力を発揮したいかにもガリシア～アストゥリアス・タイプの高潔なダンス曲からギター、ホイッスル、アコ等がフィーチャーしたしっとり叙情的、あるいは小気味よい曲まで音楽のレンジが広い。ガリシア～アストゥリアス的な民衆的な情感をストレートに音楽に反映した潔さが気持ちいい。2005 作。San Migue)

[CD/POLAND]

- *WARSAW VILLAGE BAND: Sun Celebration D
(Warsaw Village Band の七枚目に当たる新作は二枚組。三人の歌姫をフロントに立てた彼らのヨーロッパと東アジアの範囲で国境を越えた独自のワールド・ミュージックは、本作でさらに勢いを増して、感動的。土俗的な歌姫達の唄は汎大陸的な大地の響きだし、民族楽器を駆使した音楽は様々な民俗性がミックスされて呪術的で妖艶。ゲスト: Mercedes Peón, Ustad Liaquat Ali Khan, Sanjay Khan, Amrat Hussain。2017 作。Jaro)
- *WARSAW VILLAGE BAND: People's Spring C
(2001 年作。ポーランド原盤。Orange World)
- *BERKLEDDY: Muzyka Nasluchana C
(副題 "New Folk Music From Poland"。祖父から習ったという Cymbaly {ハンマー・ダルシマー} 奏者 Andrzej Zajko の Cymbaly をフィーチャーしたポーランドのトラッド。エレキギターやドラムス等の 6 人組のバンド編成で清涼感あるフォーク・ロック。ブックレットには Cymbaly の歴史と話 {英訳} もあり。98 作。Orange World)

[CD/SLOVENIA]

- *MAGNIFICO: Grande Finale A
(Balkanbeats Vol. 1 に登場のイタリアの東の国スロヴェニアのジプシー・ロック・バンド。グラス付きのロック・バンド編成でジプシー音楽とアクの強いカントリー・ロックを泥臭く混ぜこぜにした活力あるジプシー・ロック。大半の唄は英語で Magnifico のヴォーカルは野太い。不思議な感触の大胆なロックだ。2007 作。Arih)

[CD/UKRAINE]

- *SVITLANA NIANIO: Kytytsi B
(三つ折りの厚紙ジャケットの左袋に CD、右袋にリスト集、真中にブックレットという外観は安っぽくも手作りの愛情ある作りの CD。早春の香りのする Svitlana のか細く美しく自由に舞うようなシンキング それ自体がえも言われぬ魅力。全 16 曲夢の中保証。99 作。Koka)

[CD/CZECH]

- *BRAN: An Delienn B
(ブルターニュの音楽の影響を強く受けた女性一人を含むチェコの6人組トラット・バンド。ヴォカルのほか楽器編成はアコ、クラリネット、ボンバルド、フルート、コントラバス、ギター、ブスーキー、パーカッション、ホイッスル。ブルターニュのトラット・シンガーの Yann-Fanch Kemener をホフツさせる Dewi Pajot の見事なシンギングとブレトン・ミュージック風ながら、彼らならではの気高さ・典雅さとフォークロックっぽいリで風を切る疾走感と醍醐味は新鮮。2008 作。Indies)
- *NEREZ: Jednou Mer, 2xNerez B
(本作が4枚目という4人組。チェコ、ロシア、ポーランド、ジプシー、ユダヤ、スペインのフォーク・ミュージックの影響を受けたという彼らの音楽だが、オリジナルメンバーでヴォカルの Zdenek Vrestal のメルヘンチックだったり、メランコリックなSSW的な持ち味にシンプルなリズムによる独創的アレンジで自分の世界を彩っている。2004 作。Indies)

[CD/SLOVAKIA]

- *FIGUR BANDA: Hungarian Village Music From Slovakia C
(スロヴァキアのハンガリー音楽。トランシルヴァニアの活きのトラット・バンドをホフツさせるハンガリー臭たっぷりの村の音楽。楽器編成も正統派ハンガリアン・バンド編成でオバさんの歌を含めて味わいが濃い。ブックレット収納のポケットはあるが、ブックレットはない。2002 作。Ifju Szivek)

[CD/CROATIA]

- *DARKO RUNDEK & CARGO ORKESTAR: Mhm A-ha Oh Yeah Da-da B
(民俗性豊かな音楽をベースにジャズやロックやクラシック、レゲエ等ジャンルを超えた音楽で自らが流民であることから生まれた孤独感や社会的メッセージ等を唄と多様な音楽で創作力豊かに表現している。英語解説付。2006 作。Pi'ra:nha)

[CD/BELARUS]

- *IVAN KIRCHUK: Heritage Of The Lost Villages C
(各種民俗楽器を駆使した Ivan Kirchuk と男性地声合唱による素晴らしいベラルーシの民俗音楽。全33曲。2000 作。Pan)

[CD/RUSSIA]

- *INNA ZHELANNAYA: Izvorot D
(二枚組。本作で Inna と彼女のバンドは、ロシア各地の民謡を、おおよそ民謡の音楽としては常識的には考えられないほどラディカルにロック化。彼女独特な混沌として暗鬱なロシア・トラットは、スウェーデンの革新的トラットと通じ合う土俗性を持っているのは、興味深い。常に究極を目指す Inna は偉大なるロシア民謡の革命家だ。ロシアの大地に永眠中の地霊や精霊達も狂い踊りしそう。2014 作。Inna Zhelannaya)
- *COSMONAUTIX: Energija B
(“Russian Balalaika Speedfolk” と呼ばれる男性4人組ロシア・フォークバンドだが、彼らのパフォーマンスを全面に押し出したサウンドとダンス的なフ

フォークロックは独特で、ロシア民謡＋少々のクラマーの匂いをこれでもか、これでもかと振りまく。そのリズムの速さとヴォーカルの Morgan Nickolay の大上段に構えた風の唄はユーモラスでもある。元気ハツツなロシア・バンドだ。2011 作。Piranha)

- *SARATOVSKAYA ¥2780
(CD+DVDセット。副題“Traditional Russian Accordion Music Of The Middle Volga Region”。1860 年代からロシアのサトフで演奏されているサトフ・タ イトリック・ボタン式アコーディオンの演奏家 10 名の演奏を収録した 40トラック収録 CD。2010 作。Pan)
- *FARLANDERS:Farlanders B
(Farlaners の 2 枚目。角笛、バグパイプ、クラリネット等吹奏楽器が全面に出た彼等独特な土俗的音楽は圧巻。1998 作。ト イツJaro)

[CD/GEORGIA]

- *GEORGIAN FOLK SONGS ¥1580
(ゲルジアのフォークソング集。全 17 曲。合唱を中心にヴォーカルの魅力が多彩。94 作。ロシア Sound Of The World)

[CD/BULGARIA]

- *ORATNITZA:Oratnitza B
(ブルガリアの音楽というとブルガリア・ヴォイス等女性ヴォーカルを中心に素の「民謡」が多かったが、彼らは異色。ブルガリアの民族のメロディーとリズムを発掘し、勢いある彼らのフォーク・ミュージック/ワールド・ミュージックを創作している。音楽に向かう姿勢も音楽も北欧の先鋭トラッド・バンドに通じる場所がある。2012 作。Fusion Embassy)
- *BULGARIAN MUSICAL FOLKLORE a
(by “Svetoslav Obretenov” Bulgarian National Choir。全 22 曲。91 作。Gega)
- *BULGARKA:Vocal Trio(89 作。Balkanton) a

[CD/HUNGARY]

- *SONDORGO & FERUS MUSTAFOV:In Concert ¥1000
(南スラブの伝統音楽グループの Sondorgo とマケドニアのジプシー音楽の王と呼ばれているクラリネット兼サクソ奏者の Ferus Mustafiov のコラボは変拍子多用で重層的リズムの、滅茶苦茶躍動的なマケドニアン・ジプシー音楽色濃厚な音楽。Agnes Herczku がコラボの利いたシンギングも最高。2008 作。Sondisc)
- *META:Betoltse Szivedet... C
(副題“Hungarian Folk Music”。Marta Sebestyen&Muzsikas の影に隠れて存在感が薄かった Meta だが、Salaman Beata と Nemeth Ferenc の二人のシンガーと Muzsikas スタイルの音楽は圧巻。2001 作。Folk Europe)
- *MESZECSINKA:Meszecsinka C
(アラブがかかった Makam&Kolinda に初期 Kolinda 時代のエネルギーを注入したかのような物凄い土着的エネルギーに満ちたフォーク・ロックだ。というのが前半。6 曲目の“Kuku”という民謡風の唄から傾向が変わる。

7曲目は前半と同じ傾向だが、8曲目以降最後11曲目まで、今度は音楽がシンプルかつスローになり、Annamariaの唄が魔性を帯びる。ミスマの利いた悠久のヴォーカルが素晴らしい。圧巻。2012作。NarRator)

*MAKAM: Sindbad B

(Lovasz IrenがヴォーカルのMakamの2005作。Z Paravan Kiado)

*MAKAM: Akom Bakom B

(Makamの本作は子供向け。ジャケットもブックレットも幼稚園の子が描いたようなクワイ画。音楽は手抜きなしの魅惑のMakamサウンド。2006作。Hangveto)

*MAKAM: Zarandokenek (2008作。Z Paravan Kiado) B

*ORFEO: Zenezscsoport B

(Kolinda結成前のKolindaのメンバー達の貴重な音源集。Kolindaはデビュー時から、ロックファンにも衝撃を走らせた完成品以上の完成品だったが、本作では、Kolinda前夜の完成音楽、ハンガリー伝統音楽等が聴ける。試行錯誤時代のKolindaとKolindaの姉妹グループのVizontoの興味深い魂震わす演唱だ。全22曲。P62のブックレット付。2011作。KOKE-001)

*KORPAS EVA: Szezelem, Szezelem B

(英題“Love, Love”。Primas Parade, Tukros Band, Lakatos Robertなどのアルバムで麗しのヴォーカルを披露しているトラッド・シンガーのEvaのソロ。本作は、ジャズ風味のハンガリアン・トラッド。Evaのエキゾチックで独特な麗しさは不思議な安らぎ感がある。Muzsikas系でもMakam系でもな新感覚の魅惑のハンガリアン・トラッド・アルバムだ。全18曲。2010作。FolkEuropa)

*BOGNAR SZILVIA: Csintekerinto B

(Szilviaの本作はハンガリアン・トラッド・ミュージックの新たな魅力を教えてくれる魔法の音楽。Szilviaの目線は子ども。だからこそ、Szilviaのシンキングは柔らかく優しいし、各種民俗楽器+αによる音楽はハンガリアン・トラッドのサウンドで自由に絵を描くように彩る。メルヘンチックなジャケット意匠もブックレットもデザイン賞を上げたいほど。ボーナス・シングルCD付。2011作。Gryllus)

*BIRO ESZTER: Zeneim 2000 - 2006 B

(Biro Eszterが自分のバンドBiro Eszter Quintetを結成する以前にソロ・シンガーとして活動していた時代の音源の編集盤。唄はハンガリー語と英語の両方で、音楽はラスト収録の一曲“Outro”以外はハンガリー色はなく、大型ポップ・ロック・シンガーのレベルの魅惑の今日の音楽。P20のブックレットの各ページがBiro Eszter写真集のよう。トラッド系シンガーとして再出発する前に一時代を築いていたことを証明する華やかな編集盤だ。歌唱力は疑いなくワイルド・クラス。+容姿も。2006作。Miss Biro)

*EKTAR: Kontrapunkt C

(EktarはあのToth Evelinがヴォーカルの七人組。ある種Evelinのヴォーカルというかミンクというかスクットは究極の追分的。音楽はMakamの音楽エッセンスを抽出したこのようなエキゾチックでスピリチュアルな音楽。全編、サーランギが発するアラブ情緒がお香のようにゆらゆらと立ち昇り、Evelinの魂の唄はまるで宙に浮く羽毛のようで、風や光に感応し、唄を発しているかのよう。2010作。Folk Europa)

*TEKA: Wildflowers C

(副題“Hungarian Village Music”。Sebestyen Marta with Muzsikás を彷彿させる Tarnoki Beatrix with Teka の気高く、凛として美しい Beatrix のシンギングとハンガリアン・トラッドの土俗的な音楽を追求しつつ創作力豊かな音楽は躍動感と勢いがみなぎり魅力的。ハンガリアン・トラッドの王道をゆく頼もしいバンドだ。全 18 曲。2010 作。Teka)

- *DUTAR: Idegen Vendeg C
(次世代のスケールの大きなバンド。一曲目のまるでヴァルティケを想わず遊び唄のような快活なテムパの Csoké Renata のヴォーカルとハンガリーの民俗楽器を駆使したエプガティックに熱く大地の音をたたき出す音楽に圧倒されたあと自由自在に舞うような Renata のヴォーカルと民俗音楽を超えた即興的音楽とが一体化したハイレベルなハンガリー発の音楽を展開する。2008 作。Fono)
- *VIKTORIA HERENCZSAR: Geza Allaga – Hungarian Cymbalum Concert (92 作。Quintana) C
- *GAZSA: From Budapest To Kommando C
(“Gazsa”のニックネームで知られる 1980 年代のトランシルヴァニアのフォーク・リヴアイヴァルの著名フィドラーの Istvan Papp Gazsa 率いる Gazsa の多彩なフィドルが舞うハイレベルなハンガリー音楽。英語解説付。2003 作。FolkEuropa)
- *POLGAR LILLA: Szeretet Probaja C
(小鳥の囀りの Polgar 嬢による美しく清々しいハンガリアン・ヴォイスの響き。無伴奏や一人デュエット等も挟みながらハンガリー風コブシ翻る美声が森を駆け抜ける。2002 作。Etnofon)
- *BEKES BANDA: Zsok-Joc C
(副題“Romanian Village Music from Hungary”。1978 年結成のヴェテラン・トラッド・グループによるハンガリー南東部のルーマニア音楽。英語解説付。2001/2004 作。Etnofon)
- *NINCS PUSZTINA BEKERITVE D
(2 枚組。副題“Hungarian Moldavia’s Celebrations and Everyday Life”。クリスマス・ソングや婚礼歌や兵士の歌や季節の歌や葬儀の歌や子守歌やもちろんダンス音楽等などタイトル通りの Katalin&Erzsebet ばあさんふたりの生きた民衆音楽集。英語解説付。2005 作。Etnofon)
- *MOHACSY ALBERT・NAGY ZSOLT: Tizenket Banda C
(Meta のメンバーの Mohacsy {ダブルベース、チェロ} と Nagy {フィドル} がゲストを迎えて共演したもの。共演者は Meta をはじめ Muzsikás, Bekecs, Galga, Teka, Tukrus, Galga, Uszturu, Fono, Csik, Berka のグループのメンバーやツィンバロン名手 Balogh Kalman 等など。2004 作。FolkEuropa)
- *MUZSIKÁS・SEBESTYEN MARTA: Hazafele (96 作。Gong) C

[CD/BELARUS]

- *KRIWI: Past&Present C
(ベラルーシのトラッド・バンド。北欧のサーミののような呪術性にウクライナの騎馬民族的躍動性にアラブ風変拍子多様な魔性にヨーロッパの中世音楽の祭祀性と優美性等多様な音楽性は底知れぬ深さ。他の国のトラッド・バンドとは比較できない魔力と魅力がある。1998～2003 年の収録曲からの編集 CD。2004 作。Orange World)

[CD/KLEZMER, GYPSY, BALKAN 他]

- *ALEXANDER FEDORIOUK: The Art Of The Cimbalom A
(2003 作。Traditional Crossroads)
- *DEN FLYGANDE BOKRULLEN: Shuff! B
(スウェーデンの6人編成のクレズマー・バンドの3枚目。「クレズマーのパンク・ロッカー」と言われる彼等のクレズマーは、ホーン3台とサクソ&クラリネット[同じ奏者]が1台の4台の吹奏楽器が炸裂するまるでバルカン・ビート・バンドのような祝祭ムード満点なクレズマ。世界で最もハッピーなクレズマー・バンドかも。2007 作。Arko)
- *OLD SALT: Up River Overseas C
(Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。彼らが初めて音合わせしたのは、2013 年の夏にスロヴェニアで開かれたフォーク・フェスとのこと。核になる音楽は米国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、それはアパラチアン音楽とオールドタイム・ミュージック。Dan Wall 自身はその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加えて、ヨーロッパの古風なジプシー音楽のサウンドもご披露。音楽の素材は古いが、前向きに音楽する楽しさがガンガン伝わってくる爽快盤。2016 作。Appel)
- *GIRO: Galway International Retro Orchestra C
(アイルランドのゴールウェイで結成された一姫三太郎の四人組。一姫でフィドルのまよさんは日本人で、Giro のアコーディオン奏者の Anders Trabjerg の奥様。Anders はゴールウェイで長年演奏活動をしているデンマーク人。残りの二太郎はカナダ人フルート奏者の Kyle Borley とニュージーランド人クラリネット奏者の Geoff Ward。彼らが目指す音楽は 20 世紀はじめ頃の雰囲気音楽。この目標設定は大正解。アイリッシュもジプシーもクレズマーも北欧も「20 世紀はじめ頃の雰囲気」をそれ風のレトロなサウンドで創作していて、ユニークだし、全体を通して、コミカルだったり、ホロリとさせられたり、音楽に人情味が感じられて、心はずっと笑顔。古いアイリッシュと古いジプシー音楽が調和共存する音楽を初めて聴いた。2014 作。GIRO)
- *URBAN TUNELLS KLEZMERBAND: In Der Fintster B
(ルウェーの男性 5 人組クレズマー・バンド。Klezmatiks がクレズマー音楽の伝統と精神を重んじ、創作意欲盛んなのに対し、こちらはクレズマー音楽の音楽性に限界を設けず、ジャズやロックやタンゴ等を自在に盛り込み、また唄は Tom Waits のようなダミ声で演技的にうたう。型に囚われないネットワークの軽い独創性に溢れてはいるが、唄にはクレズマー音楽の心が執念深くうたい込まれている。クレズマー音楽の、ある意味進化形。面白い。2011 作。Curling Legs)
- *EARTH WHEEL SKY BAND: Trans Romano C
(セルビアのロマ[ジプシー]音楽バンドの豪勢なジプシー音楽。バンドのリダー

でヴォーカルの Vince Olah はセルビアのジプシー音楽シーンでカリスマ的存在らしく、Vince の魂を鼓舞するヴォーカルにも圧倒されるが、まるで全ジプシー音楽の魂と多様な音楽とを一身に背負ったかのようなアラブ=地中海~バルカン音楽的スケールの醍醐味あるお祭り音楽は物凄い。アルバム・タイトルは“Trans Romano”が正しいが、表紙は“Trans Rromano”となっている。2009 作。ポーランド Tylkomuzyka)

*NOA: Classic Noa. The Israeli Songbook C
(Noa が過去 50 年のイスラエルの文化等からイマジネーションを得て作詞作曲した歌集。言葉はヘブライ語。オーケストラを中心にした壮大な音楽の中、Noa は舞い踊るようにうたっている。2013 作。Pinorekk)

*DANIEL KAHN & THE PAINTED BIRD: Lost Causes B
(バンド・リーダーの D. Kahn はカリスマ性があり、中々のツモ。主に 100 年~200 年前にユダヤ人がうたった唄を掘り起こし、ある時はメロコリックに、ある時は夢うつつに、ある時は民族意識高く朗々とまたある時は祝祭ムードたっぷりに、D. Kahn の渾身のヴォーカルを中心に多彩な色彩感覚&音楽感覚で魅力的なクリスマス音楽を創作する。Adrienne Cooper, Brave Old World の Michael Alpert 等がゲスト参加。本作は音楽賞を授賞。2011 作。Oriente Musik)

*SOLFRID MOLLAND: Katedral For Tapte Drommer B
(ロシア民謡やジプシー音楽を聴いて育ったというルウエーのジプシー音楽ソング-の本作は、ジプシー楽団の Taraf De Haidouks や Pascal De Loutchek {ギター} や Ionut Guluna {ヴォーカル} や Hayden Powell {トランペット} や Jo Skaansar {コントラバス} のジプシー音楽の名手達との共演作。ジプシー音楽を「ヨーロッパのブルース」と呼ぶ Solfrid の唄は、ジプシー音楽の故郷に回帰するかのようにノスタルジックで憂いが感じられるもの。2011 作。KKV)

*CACI VORBA: Tajno Biav B
(ワールド・ミュージックシーンに突如現れたポーランドのジプシー/バルカン系グループ Caci Vorba の二作目。ブルガリア、ルーマニアそしてロシアのジプシー音楽を、その音楽の心を体内に染み込ませ、その上でワールド・ミュージック感覚の柔軟かつ幅広い音楽性を持った魅惑の音楽のもと、Maria は舞い踊るようにうたう。まるで東欧の深い不思議の森へと誘われるよう。2011 年、ワールド・ミュージックのベスト・アルバム。2011 作。Oriente Musik)

*HAPELUSH: Hapelush C
(オーストリアの男性三人組一応クリスマス・グループ。ギターとコントラバスはジャズのセンスを持ち込み、クラリネットはクリスマスの香りを立てる。スウィング・クリスマス-とでも名付けた知的でいおしやれ感のあるセンス抜群のクリスマス風音楽である。酒場なんかで聴いたら、すぐに酔いそう。2009 作。Extraplatte)

*MAZZELTOV・ROLINHA KROSS: Amsterdam C
(Rolinha をヴォーカルに迎えたヴェテラン・クリスマス・バンドの Mazzelton は凄い。即興性のある「あうん」の息は、ヴェテラン・ジャズ・ミュージシャンの即興演奏のようでもある。Mazzeltov のクリスマス・ヴォーカルの真髓的入魂のヴォーカルはある種霊的でもあり、唄の情感・情緒は深い。2008 作。Frea)

*WUPPINGER & L'ORCHESTRA EUROPA: Le Grand Rouge C

- (ギター奏者の Frank Wuppinger が率いる男 6 人組ジプシー＝東欧音楽を中心に汎ヨーロッパ規模の異種交配というか異種多岐音楽グループ。楽器編成はギター2台、アコ、ヴァイオリン、ベース、パーカッション。核を成す音楽はジプシー・ギター音楽で、エキゾチックさやノスタルジックさを楽しむスタイル。2007 作。Laika)
- *KLEZMIC ZIRKUS: Vitamine C
(ベルギーの 5 人組クレズマーバンド。楽器編成はクラリネット、アコ、エレキギター、トロンボーン、チューバ、エレキベース、ヴァイオリン、トランペット、パーカッション、サクソ等。実験的で挑発的なクレズマー音楽を創作。ある種クレズマー音楽最前線。2007 作。Home)
- *STRIGAT: Jab B
(オランダの異色のバルカン音楽グループ {トリオ}。楽器編成はトランペット、アコーディオン、ツインパノ。バルカン音楽なのだが、ジャズっぽいバルカン音楽というか音楽する発想が自由で、それぞれの楽器が遊ぶ感じで、どこかおどけた感じの音楽。楽器と楽器がおしゃべりし、時々笑わせたり、気まぐれにスキップしたり、真面目に遊ぶ音楽。2009 作。Karnatic)
- *KALI GERCHEN: Kaj Te Zav Kam Ist B
(スロヴァキアのジプシー・トリオに Zanita Stipakkova という女性シンガーがゲスト参加のギター一本の伴奏の唄中心のジプシー音楽。唄のほとんどはロシアの伝統歌で、Zanita のヴォーカルをフィーチャーし、男性ヴォーカルがハーモニーする彼らジプシー音楽は、どちらかと言えば、スペインのジプシー音楽に近い。2008 作。Pavian)
- *BALKANBEATS VOLUME 3 D
(ニューヨークのラテン・ユダヤ・ジプシー・ジャズ・アメリカン・ルーツごちゃ混ぜでアビックに妖艶なバルカン・ビートバンドの Slavic Soul Party を皮切りにとびっきり活きの良いのが 15バンドも。刺激的。Eastblok)
- *CHERNO MORE: Grabacion En Dreeto B
(Nasco Kristov {アコ}, Ivo Kristov {各種笛} のブルガリア人二人とアラブ系アフリカ人の Wafir {ウード} のトリオ。ブルガリア人二人による民族色を強く打ち出したエキゾチックなバルカン音楽と Wafir のウードをフィーチャーした魂の響きとでも言いたいような魂揺さぶる民族色豊かな悠久の音楽。2007 作。Almoukri)
- *63 STRINGS: 63 Strings B
(イタリアのジプシー・ジャズのトリオにアメリカ人ハープ奏者の Park Stickney がゲスト参加のジプシー・ジャズ音楽。9 曲中 8 曲が Django Reinhardt の曲で Django のジャズとジプシー音楽とのフュージョンを即興的に演奏。2006 作。FolkClub Ethnosuoni)
- *GIGANYOK "A Karpat-Medenceben" C
(“Gypsies In The Carpathian Basin”。2004 作。Etnofon)
- *BEN-CANAR: Nodudai C
(イスラエルとシリアの国境の町に住むユダヤ人作曲家でサズ、ウード、ギター奏者でシンガーのポーランドとロシアのポーランド {家族の故郷} やバルカンなど様々な地のユダヤ音楽やシリアの喉歌や中世音楽などにインスパイアされて作曲した曲をリエンタルムト漂うサウンドとシンキングで、時を超え、土地を超え、夢の旅をする。2002 作。Orange World)
- *BRAVE OLD WORLD: Bless The Fire (2003 作。Pinorrek) C

- *THE KLEZMATICS: Jews With Horns (94 作。Pi'ra:nha) B
 *JOKKE SCHREURS TRIO: Jokke Schreurs Trio B
 (ジプシー・スウィング・トリオ。2001 作。Wild Boar Music)
 *THE KLEZMER CONSERVATORY BAND: A Taste Of Paradise A
 (2003 作。Rounder)
 *JOAQUIN DIAZ: El Alma Es Dulce D
 (18 曲入 CDブック。ブックは普通と違って和紙も使われたアート感覚あふれるもの。音楽はセファルディイ{スファラディ}。これぞ J. Diaz の唄! のそれぞれの唄の世界に思いを馳せた柔らかな唄達。w. Luis Delgado, Javier Coble, Diego Galaz, Jaime Munoz, Cuco Perez。2001 作。tf.media)
 *KROKE: The Sounds Of The Vanishing World B
 (99 作。Oriente Musik)
 *PJOTR LESCHENKO: 1931 A
 (副題“Gipsy Songs&Other Passions”。97 作。Oriente Musik)

[LP/JEWISH, GYPSY他]

- *ANGEL CARRIL: Kerensya Sefaradim ¥1980
 (LP です。倉庫で発見。副題“Musical Tradition of Spanish Jews”。90 作。スペイン Saga)

[CD/ISRAEL]

- *LA FLUTE D'ISRAEL “Reviyat A Markidim” ¥1500
 (英題“Flute Of Israel”。Buda Musique)

[CD/KURDISTAN]

- *NIZAMETTIN ARIC: Azadi A
 (30 年もの間、国外で流浪生活を送る大物クルド人伝統音楽歌手の Nizamettin の本作は平和、平等、祖国愛を詩に詠んで来た二人のクルド人詩人の詩に Nizamettin が曲を付けてうたったもの。音楽はアラブ音楽的情感が沸き立ち、Nizamettin の唄はどっしりとして、コブシをゆっくりと回す。その確固たる歌唱の素晴らしさは肩を並べる民衆音楽歌手を見つけるのが困難なほど。魂の唄。2011 作。Kalan)

[CD/LEBANON]

- *FARID ELATRACHE: Farid Eltrache A
 (90 作。Voice Of Lebanon)
 *FARID ELATRACHE: The Best Of Farid El Atrache A
 (うぐ。90 作。Voice Of Lebanon)

[CD/ALGERIA]

- *CHEIKH RAYMOND: Anthologie 1937-1961 D
 (アラブ人に愛されたユダヤ人音楽家で、アラブ・アンダルシア音楽の巨匠シェイク・クレモン{1912 年生まれ}の 3 枚組ボックスセット。シェイクが、インコ・マシアスの父シルヴァン・ゲラツァと設立したレコード会社 Raysylophone の貴重音源からの全 20 曲。ディスク 1 が 1937~1954 年、ディスク 2 が 1958~1959 年、ディスク

ク3が1957~1961年の録音。シエウはウードの技で、20歳の若さで、「マスター」と称されたという。初CD化。ウードの弾き語りを中心にした素朴なアラブ・アンダルシア音楽はルーツ的味わいに満ちている。P50の解説書付。2011作。Universal)

- *WARDA:A L'Olympia Vol.2 A
(フランス生まれのアルジェリア人歌手 Warda の歴史的録音盤。92作。Club Du Disque Arabe)

[CD/MALI]

- *MIGHTY MO RODGERS & BABA SISSOKO:Griot Blues B
(ブルースの大御所の Mighty Mo Rodgers と西アフリカ音楽の大御所の Baba Sissoko の両巨頭によるコラボは巨頭同士ならではのジャンルを超えた魂の音楽。双方とも揺るぎないと言うか、自分の音楽をしっかりと主張しつつ、双方の音楽性が混ざり合った響き合う音楽を創り上げていて、見事としか言いようがない。異なった音楽性を持つ二人がこれだけの音楽が創れたのは、Baba の西アフリカの民族音楽をベースに創り上げた包容力ある音楽性と Baba の音楽にブルースのルーツを感じ取った Mighty の豊かな感受性があってのことだろう。ワールド・ミュージック史上、記憶されるべき素晴らしいブルースであり、グリーオ音楽なのだ。これまで馴染みのなかった Mighty のブルースは、重厚感があって、惚れ込んでしまった。2017作。One Griot Music)

- *ARNALDO ANTUNES・EDGARD SCANDURRA・TOUMANI DIABATE
:A Curva Da Cintura C
(コラ奏者の T. Diabate とブラジルのシンガーの A. Antunes とブラジルのギター奏者の E. Scadura とによるマリとブラジル音楽の折衷音楽。ブラジル人お二人さんの音楽に即興的に割り込む Toumani の演奏が素晴らしい。ゲスト:Sidiki Diabate(コラ), Safiatou Diabate(ヴォーカル)。2012作。Mais Um Discos)

- *JAYME STONE & MANSA SISSOKO:Africa To Appalachia B
(マリのグリーオでコラ奏者の Mansa とハンズオー奏者の Jayme のコラボ。全13曲。2008作。Jayme Stone)

[CD/SENEGAL]

- *LAYE SOW:Djamano A
(北セネガルの Fula のシンガーでギター奏者で唄のほとんどは Fula 語。唄の響きはグリーオに近いし、Laye のギターもコラの響き。そこに Richard Caswell なるギター奏者がスライド・ギターでブルースの香りを注ぐ。兄弟の音楽のように流れのままにナチュラルに響演してるのが気持ちいい。2004作。ポラント Orange World)

[CD/GUINEA]

- *DJELI MOUSSA CONDE:Womama B
(滞仏20年のギニア人グリーオでコラ奏者でシンガーの Djeli Moussa Condé の新作で通算二枚目。本作はルソン・マンデラ[1918年 - 2013年]に捧げた "Mandela" など広く「アフリカ」に捧げたアルバム。白人演奏家達との共

演による本作は、アフリカ音楽からラテン音楽までの幅で音楽の幅が広く、演奏者として西アフリカのグリの音楽をどのグリの音楽よりもカヴァルでトピカルでジャンプ力のあるワールド・ミュージックに仕上がっている。2015 作。Buda Musique)

- *MORY KANTE: Sabou B
(西アフリカのゴラの第一人者。本作は全面アコースティックの伝統的グリの伝統音楽に帰ったもので、ゴラとハラフォンを要にしたカヴァルなリズムと Mory と女性シンガーとのユーモラスな掛け歌はすこぶる快感。ゴォーカを含め様々なサウンドが踊るように響き合う。素晴らしい！2004 作。Riverboat)

[CD/CAMEROUN]

- *SALLY NYOLO: Tribu ¥1780
(World Music 的に音楽的にレベルの高い Sally の民俗的かつ呪術的唄とゴール&レスダンスそしてホップで民俗色濃厚な音楽。Coeur delion)

[CD/MOZAMBIQUE]

- *MUSIC FROM MOZAMBIQUE (スウェーデンCaprice。2001 作) B
*WAZIMBO&ORCHESTRA: Nwahulwana B
(CD-ROM 機能付 CD。カヴァルな大衆音楽だ。ポルトガル音楽の上にブラジル音楽、カリブ音楽、スークそれにロックまで貪欲に呑み込み、エネルギッシュでダイナミックな大衆音楽を生み出している。ダンサーが4人も付いてリヤー、音楽も飛び跳ねるなあ。CD-ROM はタイトル曲のライブ・ビデオ。2001 作。トイッPira:nha)

[CD/MADAGASCAR]

- *WORLD BEAT VOL. 7 "Madagascar" ¥1680
(16 曲入編集 CD。フランスCelluloid)
*MADAGASCAR ¥1680
(副題"Music of Madagascar—Rossy, Tselonina, Mahaleo, Matrimbala, Justin Vali&Lolo Sy Ny Tariny"。93 作。トイッWorld Network)

[CD/VENEZUELA]

- *SON DE CHUAO: Sabor A Cacao B
(副題"Afro-Caribbean Percussion Music and Dance from Venezuela's Cocoa Coast"。2000 作。Pan)
*OSCAR D' LEON: Live ¥2940
(カリブーラテン・アメリカの最大のスター、Oscar D' Leon のアムステルダムでのライブ。キューバの名曲を中心にした全 10 曲。ボンバ)

[CD/BRAZIL]

- *MARIA BETHANIA: Encanteria B
(「魅惑」の意のブラジルを代表する歌姫マリア・ベターニアの本作はオリジナル盤は 2007 年作のよう。守備範囲外の南米音楽だが、Maria の優しく包容力あるゴォーカといい、ラテンムードたっぷりな上質の大人の音楽といい、ブラジル大衆音楽として格別極上の味わい。スペインDiscmedi)

[CD/USA, MEXICO, CANADA, FRANCE, SPAIN]

- *LHASA: Living Road A
(fRootsベストアルバム2005の2位。父親がメキシコ人で母親がアメリカ人で現在カナダのケベックに住み、英語、フランス語、スペイン語で唄うという魅惑の不思議女性SSW。Lhasaはスペイン、メキシコ、ラテン、ジャズ等の文化的音の香りを香らせながら、例えばLeonard Cohenのような語り口でドラマティックに唄う。2004作。Sodec)

[CD/CHINA]

- *プリシラ・チャン: ラスト・ライヴ ¥2625
(以前販売した2枚組CDを棚で発見。香港で人気ナンバーワンの歌姫プリシラ・チャンの引退記念ライブ。89作。ドラゴンレコード)

[CD/OKINAWA]

- *沖縄舞踊特集 第一集 ¥2000
(台風で屋根が飛んだときの被害盤。ジャケット裏面に水に濡れた痕跡以外は新品同様。1989作。マルフク)
- *りんけんバンド: アジマア ¥2000
(1992作。保存期間が長いので、検盤してお送りします。ソニー・ミュージック)
- *SHOUKICHI KINA AND CHAMPLOOSE
: Music Power From Okinawa (1997年/1991作。GlobeStyle) C

[CD/VARIOUS COUNTRIES]

- *LIVE AT THE CEDAR "Visionaries" ¥1500
(年に150-200回のライブを行なっているというアメリカはミネソタのライブハウスでのライブ集。世界各地からの出演者でそれぞれが個性的。収録順に Baaba Maal, Mari Boine, Cesaria Evora, Gillian Welch, Doc Watson, Dave Van Ronk, La Bottine Souriante, Liam O'Flynn & Arty McGlynn, Martin Sexton, Loudon Wainwright III, Koerner Ray & Glover, Greg Brown, Ani DiFranco, Ali Farka Toure, Bill Frisell。2007作。Cedar Cultural Center)